

令和6年度第6回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和6年7月23日（火）9：00～16：38
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 <教育委員会>
福本教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員 吉井委員
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 11名（一般11名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（福本教育長）

おはようございます。定刻になりましたので、ただいまより教育委員会会議を始めます。
神戸市教育委員会傍聴規則第1条第2項では、傍聴できる人数は10人以内にとされておりますが、本日は教科書採択を予定しているため、本日に限り、傍聴定員を30人にしたいと思いますが、御賛同いただけますでしょうか。

（賛同）

（福本教育長）

ありがとうございます。傍聴者の方々には受付でお渡ししております傍聴人の注意事項の記載内容をいま一度御確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

本日は議案3件です。本日は5月10日の教育委員会会議で御承認いただいた採択要綱に基づき、教科用図書の採択について審議いたします。

教第15号議案 令和7年度使用神戸市立小・中学校・義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択について

（福本教育長）

それでは、教第15号議案、令和7年度使用神戸市立小・中学校・義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択について、事務局より説明をお願いします。

（吉田特別支援教育推進担当課長）

よろしくお願いいたします。令和7年度使用神戸市立小・中学校義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部教科用図書の採択につきまして、御説明申し上げます。

資料別冊1、調査委員会報告書の8ページ、1. 選定の方針を御覧ください。学校教育法第34条第1項及び学校教育法附則第9条により、小・中学校、義務教育学校、特別支援学級及び特別支援学校小・中学部教科書は、(1) ①検定教科書、②、③の文部科学省著作教科書、(2) の学校教育法附則第9条の規定による一般図書の3種類があり、これらの中から、児童生徒の実態に合わせて選定することとなります。①検定教科書は、通常の学級に在籍する児童生徒が使用する教科書のことです。文部科学省著作教科書は、②特別支援学校小・中学部、知的障害者用と③視覚障害者用点字版の2種類があります。

6月14日より2週間、市内11か所で実施されました教科書展示会では、例年、特別支援学校で使用している教科書を広く市民に知っていただくために、特別支援学校小・中学部知的障害者用である②文部科学省著作教科書、別冊2、目録1の37から40ページにあります25冊を展示いたしました。今回の展示では、市民からの意見はございませんでした。

続いて、(2)の一般図書について説明いたします。学校教育法附則第9条の規定では、検定教科書や著作教科書以外の教育用図書を使用することができると示されており、特別支援学校及び特別支援学級の児童生徒は使用しています。文部科学省では、一般図書一覧として取りまとめ、毎年、送付されておりました。しかし、一般図書の採択は、児童生徒の実情に合わせて採択されるべきであることから、令和4年度より作成及び送付を行わない旨の通知がございました。そこで、神戸市では、教育委員会会議で採択いただきました一般図書を目録3、資料の56から61ページのとおり一覧にして取りまとめ、神戸市一般図書一覧を作成しております。これまでに採択した図書から供給不能となりました図書を除いた362点については、継続して使用いたします。今年度におきましても、文部科学省が発行する全国の特別支援学校で使用予定として上げられた図書、約3,000冊をまとめた一般図書契約予定一覧の中から、神戸市一般図書一覧に加えたい図書の希望調査を、小・中学校、特別支援学級及び特別支援学校小・中学部に実施いたしました。そこで上げられた希望図書の中から多くの希望があった図書、また、教科等のバランスを考え、15冊の図書を神戸市一般図書一覧新規掲載図書として、目録4の62ページにございますようにまとめさせていただきました。

5月10日の教育委員会会議で採択されました神戸市立小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部教科書採択の流れにのっとり、15冊の調査研究を行いました。調査の日程につきましては、9ページに記載しておりますとおり、5月の8日、24日、31日の3日間にわたって教科書調査委員会を開催し、その後、6月28日に調査した内容につきまして、評価委員会で委員の方から御意見を頂戴いたしました。

それでは、調査をさせていただきました15冊の調査報告をさせていただき、採択の御審議をいただきたいと思います。調査研究報告について、御説明いたします。調査研究の観点は、10ページに記載させていただいているとおりでございます。①内容の観点アからウ、②形式の合計4つの観点について調査研究を行い、同じく10ページ以降にまとめております。

それでは、ここから、図書の調査内容につきまして、事務局の担当武藤より報告をさせていただきます。

(武藤主事)

調査委員会では、担当者から様々な意見を出し合い、別冊1の10から32ページにまとめさせていただきました。本日は、令和7年度新規掲載図書15冊の中から数冊、報告書を基に御説明させていただきます。

10ページをお開きください。それでは、御報告させていただきます。前のモニターにも映させていただいておりますので、御覧ください。1冊目から3冊目は、学研より出版されています。「ひとつひとつわかりやすく。」シリーズになっております。中1英語、中学歴史、中学公民、この3冊につきましては、中学校特別支援学級、特別支援学校中学部の生徒の使用を想定した図書になります。このシリーズは基礎レベルから、とても優しく解説されています。各教科に苦手意識のある生徒にとって、少しずつ効率よく学べるように、大切なポイントを開きページに一つ一つわかりやすく解説し、右のページに書き込み式の練習問題として、1回の学習が見開きになっているので、課題への見通しを立てることもできます。解説を読んだら、すぐに練習問題に取り組むことができ、達成感を味わうこともできます。文字ばかりの解説では理解が難しい生徒にとって、内容が簡潔にまとめられており、シンプルな構成のため、苦手意識を教職員と一緒に克服できる1冊になっています。易しい問題をたくさん解いて、定着につなげることもできます。中1の英語については、二次元コードもついており、附属のCD、ページごとの二次元コードを読み取ることで、解説の聞き取りも可能です。文法の理解、定着だけではなく、聞く、読む活動にもつなげることができ、単元の3回から6回ごとに復習テストが設定されており、振り返りも可能で、少しずつレベルアップできる構成になっています。難しければ、前のページに戻ると、解説や同類の練習問題があるので、復習でき、確認しながら進めることができます。さらにメディア・ユニバーサルデザインを取得しており、オールカラー化で、図解や写真も非常に見やすくなっております。

続きまして、20ページをお開きください。かもがわから出版されております「自己・他者の感情理解を育てるSSTカード教材気持ちチップ」です。当初は、小・中学校の特別支援学級、特別支援学校の小・中学部の児童生徒の道徳の学習を想定しております。中には、お題カードと表情チップが入っており、自己や他者の感情理解を育てる図書になります。こちらのカードの使い方は様々ですが、お題カードは文章のみで表現していて、家庭編と園・学校編の2つに分かれています。身近なテーマでイメージしやすい内容を取り扱っております。お題は、「折り紙がうまくできない。」や、「明日は遠足だ。」といった簡単なものから、「朝、学校へ行く途中、おばあさんにお店の場所を聞かれた。教えてあげると遅刻しそうだ。」といった文章表現、感情ともに、より複雑なものまであり、児童生徒の発達段階に合わせてカードを選び、学習することができます。表情当てゲームや、

作文や感想文を書く前に、自分の気持ちを書くことが苦手な子供たちと体験したことを、表情チップを使いながら学習することも可能です。

続きまして、25ページをお開きください。戸田デザイン研究室、「日本の色彩 22の色」です。当書は、図工、美術、生活で使用することを想定した図書になります。現在の日本では、色がピンクやオレンジなど、片仮名表記で表す色が多くなっていますが、日本には昔から伝えられ、使われてきた美しい色がたくさんあります。それを大切にしているのが、当書になります。日本の色は自然から見つけたものが多く、名前もそれらにちなんでいるようです。例えばとき色ですが、名前は知っていても、瞬時に、ときという鳥を想像できますでしょうか。ときの羽は、うっすらとピンク色に近い色をしています。現代であれば、薄いピンクと表現してしまいそうですが、とき色と名づけられて、日本文化のささいな色彩感覚を感じることができます。また自然が減っていくということは、色が減っていくことにもつながります。自然の豊かさが、色の豊かさと言えると思います。色に詳しくなれば、きっと自然にも興味を持てるようになると思います。現在の日本、世界に目を向けると、使う色の多さに時代の背景を感じます。身近な自然が減少している今、同じように失われている色についても知ることが大切です。当書がそのきっかけとなり、色を知るところから視野を広げていくことができると考えられます。色を見て実物から連想する、調べ学習、さらには先生や友達と色についてディスカッションする機会にも、当書を通じてつなげることができると考えられます。同時に、特別支援学校学習指導要領解説、各教科編に示された中学部の美術の段階ごとの内容を見てみると、表現、鑑賞の共有事項として、色彩といった文言が含まれています。色に興味のある児童生徒には、何色と何色を混ぜるとこのような色になるのかなど、生活や図工、美術の教科書としてふさわしいと言えます。私からの報告は以上になります。

(吉田特別支援教育推進担当課長)

続きまして、6月28日に行われました評価委員会では、先ほど説明させていただきました15冊につきまして評価をいただきました。33ページ、34ページを御覧ください。そちらに委員の方々からの御意見をまとめさせていただいております。その中で先ほど御紹介させていただきました「日本の色彩 22の色」につきまして、教科書として、どのように使っていくのか。例えば鶯色は一般的な色ではないが、それをどのように授業に生かしていくのか。使い方によっては意味のある本だと思うが、活用方法などは学校現場にも伝わるように工夫してほしいという御意見。また、学研より発行されております「ひとつひとつ分かりやすく」シリーズ、「やさしくまるごと」シリーズの図書につきましても、なぜ文部科学省著作教科書や検定教科書ではなく、この本を採択するのかの判断を慎重にすべきである。事務局は学校任せにせずに、しっかりと関わっていくべきだろうという御意見を頂戴いたしました。この御意見につきまして、特に「22の色」についての使い方につきましては、各学校で研究するのは確かに難しいところがあると思われま

して、その図書でできることや指導方法、また、好事例を収集しまして、発信していく必要があると考えております。また、現場への周知の際には、丁寧に伝えていきたいと思っております。さらに学研より発行されている図書につきましては、指導する先生方には、検定教科書を把握した上で、より充実した授業展開が必要になるかと思われます。8月中旬に行われます特別支援学級、特別支援学校の教科書需要票記入点検時に、現場に寄り添った助言ができますよう、事前に特別支援教育課内で共通理解を図り、より丁寧な点検を行いたいと考えております。

最後に、東京都では特別支援学級、特別支援学校の教科書として選定する図書の中に、市販本のうち、特に有益と考えられる図書という項目があり、現場からのアンケートだけにとどまるのではなく、事務局として必要と思われる図書についても調査をし、採択することができるかとされており、神戸市もそういった項目を入れていくことを検討すべきではないかという御意見もいただいております。こちらにつきましては、来年度に向けて検討してまいりたいと考えております。

以上で、令和7年度使用神戸市立小中学校義務教育学校特別支援学級及び特別支援学校小・中学部教科用図書の採択につきまして、説明を終わらせていただきます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

(福本教育長)

では、本件について、皆さん、御質問ございませんでしょうか。

様々な支援を柔軟にということ、幅広い支援をするために、一般図書のことについては、やはり非常に以前より充実させないといけないということで、先ほども一般図書のあり方の説明が多くありましたが、子供たちそれぞれ違いますので、そのあたりは、やはり事務局としても、もっともっと柔軟に幅広く考えていかなければいけないかなというふうに思います。

よろしいでしょうか。

それでは、意見がないようでしたら、採決を行います。教第15号議案を承認とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございます。

それでは、次の案件に入ります。

教第16号議案 令和7年度使用神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の

採択について

(福本教育長)

教第16号議案、令和7年度使用神戸市立特別支援学校高等部の教科用図書の採択について、事務局より説明をお願いします。

(松下主事)

神戸市の特別支援学校高等部の教科書の採択の流れに関しましては、神戸市立の高等学校と同様に、教科書選定委員会を各校で設置しまして、選定作業を経て、教科書が申請されております。申請内容につきましては、具体的に盲学校の申請書を基に説明させていただこうと思います。別冊の教科書に関する申請書の6ページを御覧ください。上から2行目の精選現代の国語にありますように、検定教科書は、申請書の教科書番号の前に教科名と教科書番号が表記されています。また、発行者欄に点字に関する発行者が記載されているものが点字版となっております。

次に、一般図書です。教科書番号欄に教科名のない図書がそれに当たります。1ページの一番下を見ていただければと思いますが、例えば、「ひとりだちするための国語」などが一般図書にあたります。特徴的な教科書について、1点提示させていただきます。

5ページをお開きください。「ひとりだちするためのライフキャリア教育」という本を採用しております。モニターに映っておりますものが、それに当たります。特別支援学校では、卒業後の就労や就職に向けた福祉サービスを利用する生徒がおります。こちらの図書は、就職を目指す職業コースの生徒が、主に職業科の時間に使用することを想定し、採用しております。将来なりたい自分になるために必要なスキルや知識が、キャリア教育の視点からイラストを用いて分かりやすく説明されています。将来の自分を考える上で、社会生活に必要な自分の役割について考えたり、具体的に旅行を計画したり、また、車を購入するには、購入費のほかに運転免許証が必要なことを学んだり、実際の生活で想定される人生のイベントについて学べるようになっていきます。なりたい自分に向け、必要なことを自分のこととして捉えながら、学習に取り組めるようになっております。漢字につきましても、全てルビが振られており、知的障害に対しての配慮がなされている図書となっております。

以上で説明を終わらせていただきます。

(吉田特別支援教育推進担当課長)

御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

(福本教育長)

では、高等部ですね。本件についての御質問はございますか。

(正司委員)

御説明ありがとうございました。慎重にいろいろ議論された上で、ここに出されていることが分かりました。先ほどの小・中もそうですが、それぞれの学年で教える内容というのは、ある程度決まっているのは理解するのですが、一方で、支援学校の生徒さんは同じ年齢でもすごくバリエーションがあると思うので、先生方も大変かと思いますが、選ばれた教科書とか一般図書で、そのあたりの配慮とか、あと、多分生徒さんに端末が配布されていますから、それをどういうふうにもうまく使っているのか、その辺り少し御説明いただけるとありがたいのですが。

(松下主事)

同じ学年のお子さんに関して、異なる教科書も採択されておられると思いますが、同じ教科書を採択される場合もあります。同じであっても子供たちの実態を踏まえた上で、教科書を使う目標やポイント等について、様々なところで教員同士で話し合いながら採択がなされていると聞いております。

また、ICTの活用に関しましても、先ほども二次元コードのところ、実際に先生たちで読み取って再生しながら一緒に学習に取り組んだ例とか、あと、同じ教科書を共有する場合も、今映しているように拡大をして提示したり等行われていると聞いております。

(正司委員)

ありがとうございました。もう既にされているとは思いますが、現場での話し合い、教育委員会としてもサポートしていただくよう、よろしく申し上げます。

(福本教育長)

ほかに御意見はございますか。

よろしいでしょうか。

意見がないようでしたら、採決を行います。教第16号議案を承認とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(賛同)

(福本教育長)

ありがとうございました。

それでは、次の案件に参ります。

教第17号議案 令和7年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程の

教科用図書の採択について

(福本教育長)

それでは、教第17号議案、令和7年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程の教科用図書の採択について、はじめに事務局より調査研究報告書報告をお願いします。

(藤井教科指導課長)

それでは、まず、報告事項でございます。①の調査研究報告書を御覧ください。1ページをお開きください。4月16日、5月10日の教育委員会会議において審議決定いたしました採択要領に沿って調査委員会、評価委員会、教科書展示会等の採択事務を進めてまいりました。

6ページをお開きください。調査委員会は種目ごとに校長、教員、事務局指導主事で構成し、総勢137名で調査研究を行ってまいりました。調査委員会は4月30日に第1回を行いまして、以降3回程度、協議を行い、事務局において調査研究結果を報告、それをもとに教育委員会事務局が、この調査研究の報告書を作成しました。本報告書は、教育委員会会議で決定いただきました4つの共通観点についてまとめたもので、先日の事前研究会において詳しく説明させていただいたところでございます。

続きまして、資料2の評価委員会意見書を御覧ください。2ページをお開きください。教科書採択にあたりまして、専門的な見地及び市民の立場から広く意見を求めることを目的に、学識経験者、保護者代表者、学校関係者等8名で構成する神戸市教科書評価委員会を6月27、28日に開催したところでございます。評価委員会でいただいた御意見等につきましては、全てを資料にまとめておりますので、御参照いただきたいと思います。

続きまして、資料3、教科書全体の意見書、1ページを御覧ください。総合教育センターと市内10か所の図書館等において6月18日から、それぞれ14日間の法定展示を行ってございます。総勢299名の方の閲覧がございまして、教科書に関する意見は2ページ以降原文のまま全て掲載しているところでございます。

報告は以上です。

(福本教育長)

調査研究報告書等、これまでの動きについて説明いただきました。ここままで何か御質問はいかかでしょうか。

なければ、続いての審議に移りたいと思います。それでは、各教科書の説明をお願いします。

(石田指導主事)

では、国語の報告をいたします。資料7ページを御覧ください。調査研究の対象となる

教科書は東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社、12点です。それでは、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。これから御説明する内容は、2年生の教科書を使って御説明いたします。

初めに、資料9ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。まず、東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋1をお開きください。左側のページの下半分を御覧ください。この「広がる言葉」の欄は、小説や説明文の後に置かれており、すぐに取り組みの練習問題があることで使える言葉の量を増やしていくことができます。さらに、右側ページの右下にある二次元コードからは、デジタルコンテンツ「言葉を広げよう」につながります。

前の画面を御覧ください。教材に関連した言葉が豊富にまとめられており、生徒は自分が伝えたいことを的確に表現する言葉を探することができます。読書離れにより、語彙力が下がってきている中、その改善につながる工夫がなされています。種類ごとにたくさんの言葉が用意されており、その言葉の例文と意味を調べられます。

続いて、同じ教科書のピンクの付箋2を御覧ください。この2ページは、情報の整理の仕方等を学習する教材です。前後数ページをめくっていただくと、前には説明文を読む教材があり、後ろには紹介文を書く教材があります。これらに関連付けながら、学期に1回は情報の扱い方について学習できるように、3つ配置されています。これは神戸市の中学生に必要な論理的に考える力を着実に身に付けることができ、自分の考えを表現する学びにもつなげることができます。

では、次に、三省堂の教科書をお取りください。ピンクの付箋1を御覧ください。左側のページの下の方を御覧ください。「語彙を豊かに」の欄は、小説や説明文を読む教材の後に置かれており、文章中に出てきた表現について、関連する他の言葉の例を示しながら説明し、生徒が使える言葉を増やせるように工夫がなされています。

続いて、同じ教科書のピンクの付箋2をお開きください。右側のページから御覧ください。「情報を関係づける」は、情報の扱い方を学習する教材で、大きなまとまりとして、各学年に1つずつ配置されており、複数の資料を読みながら情報を集めていき、自分の考えを書く学習へとつながるように工夫がなされています。

では、次に光村図書の教科書を御覧ください。ピンクの付箋をお開きください。左側のページを御覧ください。全学年の教科書に言葉に関する知識を集めた語彙ブックがあり、生徒がたくさんの言葉に出会い、使える言葉を増やしたり、考えを言葉で伝えたりする活動において、使いやすい工夫がなされています。

次は、資料10ページ、観点イ「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」について御説明いたします。まずは、東京書籍の教科書をお取りください。水色の付箋1をお開きください。右側のページから順に御覧ください。この「黄金の扇風機」と「サハラ砂漠の茶会」のような2つの文章を読み、その後にある「手引き」で自分の知識や経験を結びつけながら考えたことを書くという活動が示されています。こうした流れの教材が、先

ほど観点アで御説明した「情報と論理の学び」とは別に複数配置されており、3年間で、それらを繰り返し学習することができます。これは神戸市の中学生の学力に関する課題である、複数の情報を読み取り、自分の考えを論理的に表現する力を改善するためにも効果的だと考えます。

続いて、同じ教科書の水色の付箋2をお開きください。右側のページから順に御覧ください。このプレゼンテーションのような、話す、書くといった表現することを学ぶ教材では、ページが上下2段に分けられています。上の段には、学習の順序を示し、下の段には、その一つ一つに対応した活動例が紹介されています。活動内容をイメージしながら課題を解決していくことができ、最後の自分の考えを表現する活動へと、生徒が確実に結びつけられるように工夫がなされています。

次に、三省堂の教科書をお取りください。水色の付箋1をお開きください。左側のページの一番左を御覧ください。「学びを広げる」は説明文等を読む学習の最後にあり、その2ページ後から続きます論説文を書くといった教材と関係づけられた学習活動が示されています。生徒がスムーズに次の学習へとつなぐことができるように工夫がなされています。

続いて、同じ教科書の水色の付箋2をお開きください。右側のページを御覧ください。全ての学年の序盤にグループディスカッションについて学ぶ教材が設定されており、1年の初めに話し合いのコツを体験的に、身につけることができるように工夫がなされています。

次に、教育出版の教科書をお開きください。水色の付箋を御覧ください。この2ページは、「学びナビ」として、次のページから学習する教材について、事前に解説をしています。文章を読む前に、何をどのように学ぶかが焦点化されており、生徒が見通しを持って学習に取り組めるように工夫がなされています。

次に、光村図書の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。右側のページを御覧ください。書くことについて扱う教材には、デジタルコンテンツ「書くことのミニレッスン」が置かれており、書く活動に向かう前に練習問題に取り組むことができるように工夫されています。

次は、資料12ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋1をお開きください。右側のページを御覧ください。読み物教材のほぼ全てにデジタルコンテンツ動画が設置されています。動画では教材で取り上げた話題についての補足情報や、作者の思いが語られ、最後に著者から中学生に向けて、読書の楽しみ方や今大切にしてほしいことなどのメッセージが流れます。その作家の他の作品や取り上げたジャンルに対する生徒の関心がより一層高まり、主体的に学びを深めることができます。

続いて、同じ教科書の緑の付箋2をお開きください。右側のページから御覧ください。「読書への招待」では、全ての学年で読書のきっかけとなる内容の読み物教材が置かれており、ここでは、鯉節を通して日本の伝統食について触れ、ページを2ページめくっていただいて、左側のページのデジタルコンテンツでは、「本当の国際人とは、自分の国の文

化を理解し、次の世代に伝えていける人だ」と話す著者からのメッセージ動画が流れます。その後、1ページめくっていただくと、このように「世界を広げる本」として、日本文化に関する本の存在を知ることができるようになっていきます。流れの中で、生徒を主体的な読書へと導いており、関心を持った本を手に取り、学びを深めるきっかけとなる工夫がなされています。

次に、三省堂の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右側のページを御覧ください。「読み方を学ぼう」は、物語や説明文を読む教材の後に置かれており、学習するポイントが図式化して、分かりやすく示されています。また、解説動画によって学習内容をさらに詳しく把握することができるため、学びを主体的に進められる工夫がなされています。

次に、教育出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右側のページから御覧ください。全ての学年に設置されたSDGsに関する教材では、知識を身につけながら、問いに対して考えを深めるという構成になっており、生徒が日常生活と結びつけて取り組める工夫がなされています。

次に、光村図書の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右側のページを御覧ください。「学びへの扉」では、身に付ける資質・能力を焦点化して示しており、ポイントとなる言葉が吹き出しによって掲載されていることで、生徒が学習を進める際に、役立つように工夫がなされています。

最後に、資料13ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。まず、東京書籍の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。順にページをめくりながら、御覧ください。全ての学年において、書くは緑、話すは青、読むはオレンジのように、内容ごとに色分けがされていて、色の濃さと背景の色によっても、大事な部分が見やすく分かりやすいという配慮がなされています。

次に、三省堂の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。左側のページを御覧ください。各章の始まりのページには、その学年のデジタルコンテンツへの一覧へとつながる二次元コードがあり、その一覧からは、他の学年のコンテンツにもアクセスができ、系統的な学びを助ける工夫がなされています。

次に、光村図書の教科書を取りください。黄色の付箋をお開きください。左側のページを御覧ください。語彙ブックは、他のページと段が違っており、使用したいときに、すぐに開くことができ、生徒が活用しやすいように配慮がなされています。

全ての観点の評価結果は、8ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。以上で、国語の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

それでは、委員の先生方より御意見をいただけますか。

(今井委員)

御紹介いただいたデジタルコンテンツ以外のもので、生徒が有効に使えるものがありましたら、教えていただけますか。

(石田指導主事)

デジタルコンテンツについて御説明します。まず、特に東京書籍、三省堂、光村図書の3社のデジタルコンテンツは豊富に用意されております。生徒が有効に使えるものとして、例えば「話す・聞く」の学習であるスピーチや話し合いなどの見本動画等があります。また、生徒の知識量が少ない古典の予備知識を身に付ける動画や資料もあります。スピーチの教材では、東京書籍と三省堂は、良いスピーチの例と悪いスピーチの例を見比べられるように動画が用意されています。古典については、東京書籍には、独自に短くまとめた解説動画や近代作家の記念館へのリンクがあります。三省堂には、関連する「NHK for School」に直接つながるように二次元コードが用意されております。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

他の委員の皆様で何かご意見はありますか。

はい。山下委員。

(山下委員)

各社ともに非常に工夫が凝らされていて、特に、ここ10年間の理論的な進展等も、とても反映されていると思いました。その点で、小学校からの接続という点で、「1年生の導入」について、それぞれの教科書で、どのような工夫がされているか、御説明いただければと思います。

(石田指導主事)

1年生の導入について、御説明いたします。まず、最初に扱う教材として、いずれの教科書にも親しみやすい短い詩が配置されています。それ以外にも無理なく進められるようなスモールステップの構成に工夫が見られます。三省堂は、先ほど御説明したように、グループディスカッションを各学年の序盤に配置しています。1年生の最初にこの学習をすることで、現在重視されている「協働的な学び」として、正しい話し合いの様子を生徒がつかみやすくなっています。光村図書や教育出版は、基礎的な知識や基礎的な文章から順番に無理なく進められるように構成されています。東京書籍は、国語の授業では欠かせない音読、朗読について、丁寧に押さえられる教材が冒頭に置かれていますので、以降の学習

にも生かしやすい工夫がなされています。以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

吉井委員、お願いします。

(吉井委員)

今日の御説明の中にも若干入っていましたが、神戸市の学力調査の結果を踏まえた改善するポイントについて、各教科書の中で、どのように記載されているか、御説明いただければと思います。

(石田指導主事)

学力調査の結果から見られる神戸市の生徒の課題改善に向けて御説明いたします。課題は、記述式問題に多く見られます。複数の情報を読み取り、自分の考えを論理的に表現する力に課題があります。この点について、あくまで授業の中で考えてみますと、東京書籍は、特に説明文を読む教材、その後に情報の扱い方、論理的に表現したり読み取ったりする学習。そして、自分の考えを書く教材の3つを必ずセットにして各学年に用意しています。繰り返し系統的に発展させながら積み上げられるという点で扱いやすいと思います。また、三省堂は、教材の後の「学びを広げる」というところに、いくつか条件作文を提案している箇所がありまして、授業の時間に余裕がある場合、その学習を取り入れることで、生徒の記述式の問題に対する力が身に付くと思います。教育出版、光村図書につきましては、学力調査やPISA調査を意識した問題を設置してあり、そういうところが特徴だと思います。以上です。

(吉井委員)

ありがとうございました。

(福本教育長)

ほかに御意見、御質問等ありましたら。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

神戸市は学校図書館司書を配置して、かなり整備されていますが、そのあたりとのリンクや、読書への誘導等、そのあたりについて、何か特徴がありますでしょうか。

(石田指導主事)

学校図書館との連携を図るための工夫ですが、各社とも、何らかの形で図書館を利用する際に、扱いやすいページがあります。中でも東京書籍は、1年生の教科書の76ページに、学校図書館を利用する際に必要な情報をまとめたページを見開きで取り上げています。どの学校でも、1年生の序盤に、国語の授業で図書館の利用方法や書籍からの引用の仕方について学習をしますが、その際に扱いやすくなっています。また、読書記録カードを用意している三省堂も、これはデジタルコンテンツですが、すぐ読書の記録が取れるように用意されています。次に読書への誘導という点ですが、各社とも本当にたくさんの書籍を紹介しています。また、4社とも本当に手に取って読みたくなるような教材や、魅力的な教材をたくさん用意していますので、それも1つ読書の誘導につながると思いますが、その読み物教材から読書へとつなげる流れとしましては、その難易度も含めまして、東京書籍の先ほど御説明した流れが調査員からも評価が高かったという結果になっています。

(福本教育長)

他に、御意見等はよろしいでしょうか。

それでは、これから投票を行います。投票の結果、過半数4票を得票した教科書があった場合は、その教科書を採択いたします。3票ずつ同数の場合は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、教育長の決するところとします。その他の場合で過半数を得票した教科書がなかった場合は、得票のあった教科書について、再度審議いただきたいと思います。投票用紙をお渡しいたしますので、最適と思われる発行者名に丸をおつけください。事務局が回収に参ります。

では、結果をお伝えします。東京書籍株式会社が6票です。過半数を超えておりますので、東京書籍株式会社の教科書を採択いたします。

教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

では、続いて書写の説明をお願いします。

(石田指導主事)

では、書写の報告をいたします。資料14ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社、4点です。なお、中学校学習指導要領において、書写は国語科の「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」に位置づけられておりますので、共通観点イの「思考力・判断力・表現力等」に関する調査を実施しておりません。従いまして、共通観点ア、ウ、エについて、御説明いたします。

初めに、資料16ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。

まず、東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋1をお開きください。左側の

ページを御覧ください。4社とも全ての手本に筆で書く様子を映す動画がついております。東京書籍は、書く様子を真上から映す動画が見られます。ナレーションやテロップによる解説もあることで、注目すべき部分が明確になっているなど、生徒が分かりやすく学習を進めるための工夫が重ねられています。では、前の画面を御覧ください。

このように、ナレーション、テロップで真上から映す動画が見られます。

では、続いて、同じ教科書のピンクの付箋2をお開きください。右側のページを御覧ください。行書の特徴的な動きのパターンの中から、使用頻度の高い4つの動きに絞って示すことで、他の字を書くときにも活用しやすく、行書の筆運びを習得できるように工夫されています。

次に、教育出版の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。右側のページを御覧ください。学習の進め方では、2つ目の「考えよう」の部分に課題を発見し課題を解決していく学び方とあるように、授業の進め方が分かりやすく示されており、生徒が学び方を理解しやすくなるように工夫がなされています。

次に、光村図書の教科書をお取りください。ピンクの付箋1を御覧ください。こちらも全ての手本で書く様子が映された動画が見られます。光村図書は真上からと斜めからの2つの視点が、途中何度か切り替わります。字の形を正確につかむとともに、筆をどこまで下ろすかなど、筆使いを生徒が理解しやすいように工夫が重ねられています。

では、前を御覧ください。

このように画面が何度か切り替わるのが、光村図書の特徴です。

では、続いて、同じ教科書のピンクの付箋2を御覧ください。教科書と切り離せる別冊「書写ブック」があります。この別冊があることで、硬筆の学習に取り組みやすく、毛筆授業の事前学習や事後学習として関連箇所に取り組むこともでき、日常的に文字を整えて書く意識が身に付けられるように工夫がなされています。

次は、資料17ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書を御覧ください。緑の付箋をお開きください。左側のページです。書写活用ブックでは、教科の学習や生活で使う様々な書式について具体例を示して、まとめられています。掲載されているもの以外の書式や文例も、デジタルコンテンツとして用意されており、生活の中で文字を書くときに役立てることができるように工夫がなされています。

次に、三省堂の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右側のページを御覧ください。毛筆の学習の後には、硬筆による「書いて身につけよう」があり、多様な書く場面が用意されています。ここでは47都道府県名を硬筆で書くことによって、行書のイメージをつかむとともに各地の名産がイラストで載せられており、生徒の学びや興味が広がるような工夫がなされています。

次に、教育出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右側のページ一番右を御覧ください。様々な手書きの文字を使うシーンは、このように「書式の教室」

としてまとめられており、その際に、利用するのにふさわしい文房具がマークで示されており、日常生活で生かしやすい工夫がなされています。

では、次に光村図書の教科書をお取りください。緑の付箋1をお開きください。右側のページから御覧ください。「全国文字マップ」では、各都道府県の名所や新聞の題字などが紹介されています。デジタルコンテンツも充実しており、さらに多くの文字を画像で見ることができます。生徒が身の回りにある文字に意識を向け、主体的に文字文化を理解する学びにつなげられる工夫がなされています。

では、前の画面を御覧ください。このように地方ごとにまとめられておりまして、近畿地方ですと、明石海峡大橋の石碑の文字が見られます。このように各地の色々な文字が収録されています。

続いて、同じ教科書の緑の付箋2をお開きください。右側の書き初めマスターブックを御覧ください。ここからページを逆向きにめくっていただくと、書き初めの由来や文化が紹介されています。全国各地で開かれる書き初め大会の様子も紹介されており、デジタルコンテンツでは、神戸市の書き初め展をはじめ、さらに多くの情報に触れることができます。生徒が日本の文字文化の豊かさを知り、主体的に書き初めや書写に取り組めるように工夫が重ねられています。

最後に、資料18ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。左側のページの左下を御覧いただきますと、右利きでも左利きでも、字の形を見ながら書けるように、見本となる文字を上配置しているだけでなく、ページ左下の「当番表を書く」のように上下で配置できない場合も、左右両方に書き込み欄を設けるなどの配慮がなされています。

では、次に教育出版の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。左側のページの「考えよう」を御覧いただくと、手本の字には、どれも筆順が示されています。外国にルーツのある生徒を含めて、全ての生徒の学びやすさにつながるように配慮がなされています。

次に、光村図書の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。見ていただくと分かるように、1ページに掲載する情報量が絞られております。生徒は集中しやすく、どこが大切なのか、ひと目で分かるように配慮がなされています。

全ての観点の評価結果は、15ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で書写の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、書写について、御質問がありましたら、お願いします。

(本田委員)

どの教科書もすごく工夫されていて、分かりやすいと思います。毛筆の場合、授業経験

の浅い教員や、少し得意でない方もいらっしゃると思いますが、そういう方々にとって扱いやすい教科書の観点というのは、どのようになっているのでしょうか。

(石田指導主事)

授業経験の浅い教員にとっての扱いやすさについて、御説明いたします。書写の授業の50分の中で、準備と片づけにとっても時間がかかります。多く書いても半紙に3枚書ければよいぐらいです。生徒が必要なタイミングで動画を見て取り組めるという点では、4社とも優れております。加えて、光村図書は、どこがどう書けるようになったらいいか、ポイントが絞られているという点で、短時間で取り組みやすく、生徒も経験の浅い教員も扱いやすいと考えています。

(福本教育長)

ほかに御質問とかありましたら。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

今、追加で御説明いただいていたところですが、デジタルコンテンツの中で、生徒が非常に効果的に使えるものがありましたら、加えて御説明いただければと思います。

(石田指導主事)

紹介をしなかったデジタルコンテンツで、生徒が有効に使えるものですが、中学校では、1年生から行書を学習します。平仮名を行書で書くのも筆使いが難しく、生徒は苦勞しますが、光村図書と教育出版には、平仮名50音を小筆で書く動画が用意されています。中でも光村図書は、1字、1字が別々の独立した動画になっていまして、例えば自分の名前を平仮名で書く場合にも、一つ一つ探すことができます。また、小学校から書写の授業を進めているとはいえ、やはり基本の点画の書き方というのは、繰り返し身に付けていきたいところです。東京書籍、三省堂、教育出版の3社は、この基本の点画の書き方一つ一つに動画が用意されています。特に、光村図書では、その基本を全て1つの動画としてまとめられており、基礎的な毛筆楷書の復習ができるようになっています。三省堂と教育出版は、その一つ一つが分かれた動画になっていまして、基本の書き方の復習、小学校で学習した楷書の確認ができるようになっているところが、デジタルコンテンツとして有効だと考えます。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

他に御質問等ございますか。

今井委員、お願いします。

(今井委員)

先ほど少し御紹介いただいた光村図書の別冊の書写ブックですが、これは、すごくいいと思う反面、3年間通しての別冊だと、失くす生徒が出てくるのではないかという心配をしてしまうのですが、それは現場から見て、どうですか。

(石田指導主事)

この別冊の使い方ですが、まず、配付したときに、一旦全生徒分を預かって、必要なときに使うという方法が、一番失くさない手立てとしては、良いと思います。別冊にしている良さについて、この別冊は基本的に硬筆を練習する場面での活用が多いと思いますが、やはり、本の中に書き込むというのは、少し段差があり書きづらく感じますが、この書写ブックにすることで、机の面との近さにより、書きやすいというのが1点あります。また、先ほど御説明したように、50分という限られた時間の中で、毛筆、硬筆の両方に取り組むのは、なかなか切り替えも難しく、使い方としては、今日は前回の毛筆の復習で硬筆、次の毛筆の予習として硬筆のような形が考えられます。本当に今ICTが発達してしまっていて、生徒が文字を書くという機会が、どんどん減っていますので、そういう意味では、書写が担う役割は大きいと思いますし、そういう機会を増やす意味でも、失くす心配もありますが、活用しやすい利点も多いのではないかと感じています。 以上です。

(今井委員)

よく分かりました。ありがとうございます。

(福本教育長)

吉井委員、お願いします。

(吉井委員)

1つだけ確認ですが、国語の教科書と、書写の教科書の会社が違うということになると、何か不都合はあるのでしょうか。

(石田指導主事)

各社とも、国語の教科書と関連づけている教材はいくつかありますが、たくさん関連づけているわけではありません。古典で学習した部分を書写の授業に硬筆で書いてみよう、行書で書いてみようというページが、どの会社でも多く見られますが、古典については、

全社ほぼ同じ教材ですので、特に教科書が変わったとしても問題ないと感じております。

(吉井委員)

どうもありがとうございます。

(福本教育長)

ほか、よろしいでしょうか。無いようでしたら、投票になりますので、事務局お願いします。

光村図書出版株式会社が5票、東京書籍株式会社が1票、よって過半数を超えておりますので、光村図書出版株式会社の教科書を採択といたします。

教科書の入れ替えを行いますので、しばらくお待ちください。

それでは、社会、地理的分野の審議に入ります。事務局より説明をお願いします。

(伍賀指導主事)

それでは、社会地理的分野の報告をいたします。資料19ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の4社、4点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料21ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。左ページの右下の写真、「地球儀を体験できるコンテンツ」のところにDのマークがあります。このDのマークは、デジタルコンテンツのある項目を示しています。この場合は、左ページ真ん中右辺りにある二次元コードを読み取ることで、デジタルコンテンツを使用することができます。

モニターを御覧ください。例えばその「地球儀を体験できるコンテンツ」である「My Globe」では、このように立体的に地球の様子を把握することができ、紙面では確認することのできない気づきを得ることができます。他にもデジタルコンテンツが充実しており、興味、関心を高めるための工夫がなされております。このような形で幾つかの地図を見ることができます。

では、説明に戻ります。帝国書院の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。左ページ上の枠内に、地図上にグラフを示したものがあります。この部分の二次元コードを読み取ると、独自の統計システムである「ジオグラフ」を使用することができます。

モニターを御覧ください。このように地域調査等において、一般の統計システムやデジタル地図だけでなく、独自の統計システムである「ジオグラフ」を使用して、それぞれの地域の特徴を地図上に視覚的に表すことができ、生徒の資料活用の技能を高めることができます。今モニターに映しておりますのは、工業が盛んなところということで、それぞれ

の製造業従事者数を示したグラフとなっております。

それでは、説明に戻ります。

日本文教出版の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。全ての州、地域の学習において同様ですが、こちらの見開きの導入部分で、多数の写真や基礎データを眺め、1つめくっていただきまして、次の見開きの部分で、全体的な地形や文化等の確認を行います。さらに、もう一つめくっていただきますと、左側のページでSDGsに関する現代的な諸課題を取り上げた上で、右ページで問いと予想を立てるという構成で学習活動が設定されております。生徒が興味、関心を高めながら、見通しを持って学習するために効果的な工夫です。

次は、資料22ページ、観点のイ「思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。右ページの上に「見方・考え方を働かせて探究課題に答えよう」という項目が設定されております。この項目では、自分の考えを整理したりグループで話し合ったりすることによって、思考力や判断力を高めることができるよう工夫されております。こちらの項目は、デジタルコンテンツの活動ツールを用いても考えを深めることができます。

続きまして、帝国書院の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。こちら左右2ページの「アクティブ地理」のコーナーでは、SDGsの観点から持続可能な観光という現在の諸課題と、それに関わる複数の意見を挙げながら、課題について調べたり意見を出して、持続可能な取組を考えたりするなど、学習内容を生かした発展的な学習が設定されております。「アクティブ地理」では、ほかに防災や再生可能エネルギーなどについて考える活動が設定されております。これによって協働的に活動し、思考力、判断力を高められるような工夫がなされております。

次は、資料23ページ、観点のウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。左ページの「地域調査の手法」というタイトルの部分では、活動のモデルとして神戸市が採用されており、神戸市の中学生にとって親しみやすいものとなっております。

また、1つめくっていただきまして、上半分にあります「スキルアップ」という項目では、デジタルコンテンツでの動画でも、地形図の読み取り等の地域調査の方法が紹介されており、探究活動が行いやすいよう工夫されております。

続いて、教育出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右ページの中央辺りを御覧いただきますと、SDGsの各目標のマークと、それに関わる写真が掲載されております。世界の全ての州において、このようにSDGsの観点から、各地域の課題が設定されるようになっており、生徒が探究する意欲を持ちながら、解決に向けて活動することができるようになっております。

続きまして、帝国書院の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。地理的分野では、学習全体の締めくくりとして探究的な活動を行い、それまでの学習を生かして

地域のあり方を考えるということになっております。本教科書では、地域課題の探究活動の例として、神戸市が採用されているのが特徴です。

一つめくっていただきますと、神戸市の生徒が探究活動を行う様子が掲載されております。

また、もう一つめくっていただきますと、神戸市の魅力を高めたり課題を解決したりするための提案を行う活動が設定されております。それ以降のページにも、具体的で実践的な研究方法が示されており、神戸市の中学生の主権者意識を高め、主体的な活動につながる仕組みとなっております。

続いて、日本文教出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。左ページにある「持続可能な地域を目指して」のコラムが、全ての地域の導入部分に掲載されております。SDGsの問題と各地域の学習課題がつながりやすく、探究の意欲が高まるよう工夫されております。

最後に、資料24ページ、観点のエ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。教育出版の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。本文の周りを御覧ください。薄いグレーの囲み線があり、図表と本文の境目が分かりやすくなっております。また、全体の色合いが抑えられており、学習課題、確認、表現の黄色い網かけや注釈のための青やピンクの印が、よく目立つ構成となっております。

全ての観点の評価結果は、20ページの一覧表にまとめてありますので御覧ください。

以上で、社会地理分野の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、質問をお願いします。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

紹介にあったデジタルコンテンツ、面白いと思うのですが、それ以外ですね。各社どのような工夫がされているのか、もし、紹介できるようだったら、紹介していただければと思います。

(伍賀指導主事)

紹介したものの以外でのデジタルコンテンツを紹介させていただきます。動画につきましては、東京書籍、帝国書院、日本文教出版が豊富に準備をしております。見られる動画は、どちらも「NHK for School」が中心となっております。それぞれ幾つか独自で動画を載せていたり、アニメーションで説明していたりという部分もあります。それぞれ外部へのリンクは各社、飛ぶようになっておりまして、帝国書院は先ほども申し上げました「ジオグラフ」が活用できることになっております。

それから、クイズで復習するということもできるようになっておりまして、そちらで申し上げますと、日本文教出版が、それぞれ学習のページごとに設定されております。それ以外にも東京書籍、教育出版にも、章ごとにクイズの形で章テストのような形で学習ができるようになっております。

以上です。

(正司委員)

ありがとうございます。外部リンクは、神戸市の使われているものとのセキュリティの関係で見えないとか、そういうことは起きないでしょうか。

(伍賀指導主事)

はい。それぞれ確認しましたが、それぞれが見られるようになっております。

以上です。

(正司委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ございましたら。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

地理の教科書は、生徒の皆さんが世界に目を開く1つのきっかけになるかなと思うのですが、現代的な、例えば国際紛争の問題等について、どういうふうな扱われ方がされているか、もし、よろしければ御紹介いただきたいと思います。

(伍賀指導主事)

国際的な、現代的な国際紛争というところで、例えばロシア、ウクライナの問題であったり、パレスチナの問題であったりということについてですけれども、それぞれ取り上げているものについて、御説明いたします。東京書籍は、どちらの問題も掲載しておりません。教育出版は、ウクライナ問題とパレスチナ問題について、それぞれ取り上げております。帝国書院については、パレスチナについては取り上げておらず、ウクライナの問題について取り上げております。日本文教出版については、こちらもパレスチナについては取り上げておらず、ウクライナ問題についての取上げがあります。ウクライナについては、ヨーロッパ州の学習のところで、「ロシアとヨーロッパの結びつき」というところがありますので、そこに絡めて各社取り上げている状況です。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

(正司委員)

もう一つ、いいですか。

(福本教育長)

正司委員。

(正司委員)

自然災害とか防災、減災の取り扱い方に、各社特徴はありますか。

(伍賀指導主事)

自然災害、防災等について、御説明いたします。各社、日本の様々な地域の部分で、これまでの災害や今行われている防災、減災の取組について、それぞれ取り上げております。東日本大震災や、阪神・淡路大震災、そういったものについても全ての教科書で出てきています。その中で特徴的なものでいいますと、帝国書院では、日本の全ての地域の学習の中で、地震に限らず水害等、その地域に起こり得る災害に関する事柄をコラムとして掲載しております。

以上です。

(福本教育長)

ほかに質問はよろしいでしょうか。

今井委員お願いします。

(今井委員)

どの教科書も工夫されていたり、写真もいっぱい掲載されていたり、子供さんたちの関心、興味を引き出すような工夫がされているかなと思うのですが、各社の特徴を端的に御紹介いただくとすると、どんなふうになるか御説明お願いしていいですか。

(伍賀指導主事)

各社の特徴を端的に申し上げますと、東京書籍の教科書は、デジタルコンテンツを用いて学習できるというところが、個別の学習ができるという点で扱いやすい部分かと思いません。教育出版に関しましては、先ほども申し上げましたとおり、SDGsの観点から、それぞれの課題を捉えるということで、そちらの部分を意識しているものかなと考えられます。帝国書院に関しましては、資料やコラムが豊富であること。また、「アクティブ地理」で申し上げましたとおり、主体的、探究的な学習に向かう工夫が見られるところだと思います。日本文教出版につきましても、申し上げましたとおり導入の部分から問いを設定するところまでの流れが非常にスムーズに設定されており、学習しやすいという点が特徴であると考えます。

以上です。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御意見ありませんでしょうか。よろしいですか。

最後、私から質問だけ。地域教材、神戸市独自で作ったような、「わたしたちの神戸」ですかね。どんな教科書であっても、あれで地域を教えます。たまたま今回、神戸が入っているような教科書があったりしますが、非常にうまくリンクできる可能性が高いかなと、感想は思うのですが、その辺はどう考えておられますか。

(伍賀指導主事)

「わたしたちの神戸」との関わりにつきましても、「わたしたちの神戸」も各分野それぞれ神戸に関する範囲で掲載しております。それでいいますと、探究的な活動を最後行う場面で、神戸のいろいろな特徴を踏まえて課題を設定し、解決していくという活動においては、各社、非常に扱いやすく行いやすい部分があると思います。その中でいいますと、神戸を最後に取り上げている帝国書院であれば、よりリンクがしやすいという部分はあるのかなと感じております。

以上です。

(福本教育長)

ほか、御意見ございますか。

では、投票になりますので、事務局お願いします。

株式会社帝国書院 6 票、過半数を超えておりますので、株式会社帝国書院社の教科書を採択いたします。

ここで 10 分間の休憩に入りたいと思います。10時45分から再開いたしたいと思います。

(休憩)

45分になりましたので、再開したいと思います。社会歴史的分野の審議に入ります。事務局からお願いします。

(伍賀指導主事)

それでは、社会歴史的分野の御報告をいたします。資料25ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍の9社、9点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。初めに資料27、28ページ、観点のアの「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。右ページ上の緑の枠の部分、「スキルアップ」のコーナーでは、「歴史地図を読み取ろう」という活動で、基本的な資料の読み取り等の技能について、説明されております。

また、左ページの二次元コードを読み取りますと、動画を見ることができます。モニターを御覧ください。このような動画を見ることができ、理解がしやすい工夫がなされております。

続きまして、帝国書院の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。左ページから始まっていきます、「歴史の調べ方、まとめ方、発表の仕方」の特集では、調査の方法やまとめ方等についての特集が行われております。左ページの下にあります「技能をみがく」のコラムを初め、豊富な写真や資料によって、より具体的、実践的に紹介がなされており、資料の活用や表現の技能を高めやすいよう工夫がなされております。

続きまして、日本文教出版の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。左のページに二次元コードが掲載されておりますが、モニターを御覧ください。こちらを読み取ると、このように確認小テストを行うことができます。学習した内容を、このようにヒントも得ながら、クイズ形式で復習できるという点で工夫がなされております。

では、説明に戻ります。次は資料29、30ページ、観点のイ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。歴史的分野におきましては、歴史的な事柄をどのように捉え、思考・判断を通して、どのようにその時代の特徴を表現するかが重要であることから、観点イにつきましては、全社の特徴的な部分を報告させていただきます。

では、まず、東京書籍の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。左ページ上の絵の部分に「D-ZOOM」と書かれているマークがございます。モニターを御覧ください。そのすぐ下の二次元コードを読み取りますと、このようにデジタルコンテンツで、資料や教科書に出てくる絵や写真を拡大して眺められるようになっております。より詳細に検討することによって、新たな発見につなげ、深い学習に結びつけることができます。

続いて、教育出版の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。左ページ

は、章のまとめの部分です。上の「STEP!」の項目では、既習内容から資料を読み解く活動、また、下半分の「JUMP!」の項目では、時代の転換点はどこかを考察する活動が設定されています。これによって歴史的事象について、自分の考えを深めることができます。

続きまして、帝国書院の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。こちらの「タイムトラベル」のイラストには、各時代の様々な要素が凝縮されており、デジタルコンテンツでも拡大して眺めることができます。モニターを御覧ください。このように拡大して眺めることができるだけでなく、ほかの時代と並べて読み取ることもできます。説明に戻ります。その時代の特徴や別の時代との違いを読み取ることで、思考力、判断力を高められるだけでなく、各時代についての認識を深め、表現力を高めることができます。資料の読み取りと表現という神戸の生徒の課題を克服する点において、扱いやすい工夫がなされています。

それでは、山川出版社の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。こちらの「歴史を考えよう」の特集では、「第1回普通選挙の実態を探る」として、投票率と選挙ポスターから社会の様子を読み解くなど、学習内容を生かして発展的な内容に取り組む活動が設定されています。当時の社会の様子について、生徒が興味を持って主体的に学習に取り組めるよう工夫されています。

続きまして、日本文教出版の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。左ページの中央で「ベルサイユ条約と国際連盟」というタイトルと、その下に学習課題が掲載されていますが、その下に「見方・考え方」という項目が配置されています。このページでは「比較」となっていますが、ほかのページでは、「つながり」や「推移」といった着目すべきポイントが明確に提示されていることによって、生徒の思考、判断のヒントとなるよう工夫されています。

続きまして、自由社の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。右ページの右の列になりますが、「ひとこと作文」と書かれた課題を御覧ください。こちらでは、どのような時代だったのかというのを一言で表現し、その理由を説明するという学習課題が提示されています。これによって、その時代についての知識を自分なりの言葉で表現することができるように工夫されています。

続いて、育鵬社の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。左のページの右下部分、3番の課題の部分を御覧ください。時代の流れを振り返った上で、時代で最も重要な人物について判断し、その理由を論述する学習が提示されています。この学習を行うことで、その時代の意義や社会に与えた影響等についての自分の考えを深めることができます。

次に、学び舎の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。この教科書全体を通してですけれども、太字で書かれている用語がありません。この教科書は、生徒自身で何が重要で、何を理解すべきなのかを考える構造となっており、思考力、判断力を育む上での特徴となっています。

令和書籍の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。右側のページを御覧ください。各章の初めと終わりでは、このように一貫して政治、文化、外交、産業の4つの観点から時代の特徴を考えるような問いを配置しております。全体を通して同じ見方・考え方で歴史の大きな流れを捉えることができるよう工夫がなされております。

それでは、次に資料31、32ページ、観点のウ、「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。

「もっと知りたい」のコーナーでは、現在の諸課題につながるような歴史的事象を挙げております。例えば右側のページでは、感染症という大きな枠の中で歴史を捉え、過去の感染症との調べ学習を行うといった学習の流れが想定されております。これによって現代社会とのつながりに関心を持ちながら、探究ができるよう工夫されております。

続いて、教育出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。こちらの特集では、明治時代に沖縄や北海道が日本に組み込まれたことを学習した後に、このページと、もう一つめくっていただいたページで、沖縄、北海道の歴史について、人物を通して掘り下げるといった活動が設定されております。学習した内容をさらに深め、探究していくための工夫が見られます。

では、続きまして、帝国書院の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。こちらの「アクティブ歴史」では、当時の人々の様々な立場に立って話合いを行い、歴史上の出来事を考察したり、選択、判断、評価したりする活動が盛り込まれております。この活動は、主体的・対話的な学習、探究的な学習につながるだけでなく、現在の諸課題にもつながる視点を得ることができるという点で工夫がなされております。

続きまして、山川出版社の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。こちらの「地域からのアプローチ」では、地域史や文化財等の観点から、時代の特徴を捉える活動が組み込まれております。この教科書では、こちらの金沢のほかに奈良、福岡、平泉、札幌、広島の前6地域を挙げていますが、こちらの内容を踏まえて、神戸の場合に置き換えても調査、研究することができます。

続きまして、日本文教出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。教科書全体の最後に、「歴史との対話を未来に活かす」の特集があります。

一つめくっていただきますと、こちらの範囲ではSDGsの観点から、これまでの内容を踏まえ、防災や政治参加、世界平和等について、時代を貫いて探究し表現する活動が組み込まれており、生徒の深い探究活動につながります。

それでは、最後に資料33、34ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。

教育出版の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。本文の周りを御覧いただきますと、薄いグレーの囲み線があり、図表と本文の境目が分かりやすくなっております。また、全体の色合いが抑えられており、学習課題、確認、表現の黄色い網かけや、注釈のための青やピンクの印がよく目立つ構成となっております。

全ての観点の評価結果は、26ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。
以上で、社会歴史的分野の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、委員の皆さん、御質問等ありましたらお願いします。
本田委員、お願いします。

(本田委員)

各社、本当に工夫されていて、どの教科書も良いのですが、今回の調査研究対象が多いので、各社の特徴を端的に教えていただければと思います。

(伍賀指導主事)

各社の教科書の特徴を端的にご説明させていただきます。たくさんありますが、東京書籍に関しては、デジタルコンテンツを活用した学習。それから、その導入からの流れを意識した学習というのが特徴となっております。同じように日本文教出版も導入の問いからまとめまでの流れを意識したものとなっております。帝国書院は、流れもそうですけれども、探究的な学習、対話的な学習、先ほど申し上げた「アクティブ歴史」のような活動が意識されております。教育出版も、探究的にSDGsを意識した観点から歴史的事象を読み取るという活動になっております。山川出版社は、高校での採用も多いことから、少し難易度の高い専門的な内容や活動となっているのが特徴です。育鵬社は探究的な学習を意識しつつ、表現力を高める工夫が見られます。学び舎は、太字がなくサイズが大きいのが特徴です。文章としても庶民からの目線や、朝鮮半島や中国からの目線というものも多く掲載されております。自由社、あるいは、令和書籍に関しては、豆知識やコラムといったような部分が充実しております。どちらかというところ、知識の量が豊富というか、知識、技能を高める方向性になるのかなと感じております。

以上です。

(福本教育長)

ほかに御質問等ありましたら。
正司委員、お願いします。

(正司委員)

日本の歴史と世界の歴史を同時に学ぶ、そのあたりの関連性等について何か工夫のある教科書はありますでしょうか。

(伍賀指導主事)

日本の歴史と世界の歴史の関わりに関して、各社、巻頭や巻末には、まとめの箇所等で年表を使用しております、そちらに日本と世界の歴史を並べて記載しており、つながりが分かりやすいものとなっております。そのほかの取組で申し上げますと、幾つか見ていただければと思いますが、例えば山川出版社の110、111ページを御覧ください。「16世紀の世界」ということで、その時期の世界地図を載せておまして、それぞれの国同士とのつながりが分かりやすいようになっております。このほかにも幾つか、その時期ごとの世界地図を上げております。

また、日本文教出版におきましては、各ページに簡単な年表が掲載されておまして、例えば162ページを御覧ください。こちら、世界史に関する内容ですけれども、左ページの左下に簡単な年表が載っているのですが、そちらに日本での出来事も色つきで加えておまして、流れが、その頃、日本がどうであったかというのが分かりやすいようになっていると思います。

それから、帝国書院に関しましては、例えば168ページを御覧ください。「世界とのつながりを考えよう」ということで、産業革命の頃のイギリスの絵を載せております。いろいろとほかにも幾つか日本と世界とのつながりがある場面で、イラストが紹介されております。

さらにめくっていただいて、172ページになりますと、地図編ということで、日本と世界とのつながりが分かるような地図も設定されておまして、これらが特徴的なものと言えば、扱いやすいのではないかと思います。

以上です。

(福本教育長)

ほかに御質問ありましたら、お願いします。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

歴史は人間の認識で、かなり重要な、中心軸にもなるかなと思いますが、ほかの教科とかですね。あるいは、社会のほかの分野とのつながりとかについて、各社で、もし何かお示しいただけるところがあれば、お願いしたいと思います。

(伍賀指導主事)

ほかの分野、ほかの教科との連携ということで申し上げますと、歴史で申し上げますと、例えば導入の歴史の捉え方の部分では、各社、小学校で学んだことを整理するようなコーナーが設けられております。そのほか地理や公民をつくっている会社であれば、地理との関わり、公民との関わり、このページを参照しましょうというようなものが、ページの教科書の下の方に提示されていたりします。また、理科等についても、示されている部分

もあつたりもします。例えば小学校の連携等と言いますと、帝国書院は、デジタルコンテンツでも小学校の振返りの項目等も設けられており、いろんな連携が図れるようになっております。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ございますか。

ないようでしたら、投票に入ります。事務局お願いします。

社会歴史的分野、株式会社帝国書院6票、よって過半数を超えておりますので、株式会社帝国書院社の教科書を採択いたします。教科書の入替えを行います。しばらくお待ちください。

では、続いて、社会公民的分野の審議に入ります。事務局よろしく願いいたします。

(伍賀指導主事)

それでは、社会公民的分野の報告をいたします。資料35ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社の6社、6点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに資料37、38ページ、観点のア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。右ページ上半分の緑の枠組みにあります「スキルアップ」のコーナーでは、需要と供給、円高と円安等、公民的分野において基本的かつ重要な知識や技能を実際に書き込むなどの作業を通して習得できるようになっております。また、左ページの二次元コードを読み取りますと、動画や復習コンテンツを活用することができます。モニターを御覧ください。このように動画を見ることができ、さらに、こちらのような復習のコンテンツも活用することができます。

では、説明に戻ります。次に資料39、40ページ、観点のイ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。そのまま東京書籍の教科書を御覧ください。水色の付箋をお開きください。左ページの下、オレンジ色の部分にある、「みんなでチャレンジ」の活動では、具体的な題材を基にデジタルコンテンツを活用しながら、自分の考えをまとめ、意見交換ができるようになっております。

こちら、モニターを御覧ください。こういったような活動ツールを用いまして、実際に意見のカードを動かします。例えばここに入力をして、こうやって動かしたりしながら

ら意見をまとめる、考えをまとめることができます。主体的に、あるいは、対話的に課題を追究し、自分の考えを表現するという活動は、神戸の生徒の課題である、自分の意見を表現するという点の克服においても効果的です。

続いて、帝国書院の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。こちらの章の導入部分の大きな絵の中には、その章での学習内容が凝縮されており、デジタルコンテンツでも拡大して眺めることができます。

モニターを御覧ください。それぞれ絵の中で気になったことを話し合うだけでなく、振り返りにおいても、学習事項の確認のために活用することができます。このように幅広い使い方を通して、思考力・判断力・表現力を育成することができるよう工夫されております。

続いて、日本文教出版の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。こちらの「チャレンジ公民」では、「公園づくり」といった具体的な課題を事例としまして、左ページ下のダイヤモンドランキング等の思考ツールを用いて意見を整理したり、自分の意見をまとめたりする際に、必要な見方・考え方についての指示が適切になされており、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されております。

では、次は資料41、42ページ、観点のウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。公民的分野においては、主体的に社会に参加する態度を養うという側面が重要であることから、観点ウについては、全社の特徴的な部分について、御説明いたします。

東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。こちら、左ページ上にタイトルがあります「18歳へのステップ」の特集では、「18歳でできること、20歳でできること」として、18歳成人を意識した内容が、シンプルかつ分かりやすくまとめられており、デジタルコンテンツでも、クイズ形式で学べるようになっております。

モニターを御覧ください。このようにクイズ形式で学習ができるようになっております。そのほかにも「18歳へのステップ」の特集は、選挙の流れであったり、契約と支払い方法であったり、そういった話題が設定されておまして、生徒の消費者、主権者としての意識を高めるための工夫がなされております。

教育出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右ページの本文の下を御覧ください。学習内容と関連するSDGsの目標、この場合は、11番の「持続可能な都市」が示されております。全体を通してSDGsが意識されており、一つめくっていただきますと、「持続可能な社会に向けて」の特集があります。まちづくり等の現代的な諸課題について、課題設定から探究、発信、実行までの流れを意識した学習活動ができるよう工夫されております。

続いて、帝国書院の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。右ページ上部の「アクティブ公民」では、「パン屋さんをつくろう」というシリーズものの課題が設定されております。

モニターを御覧ください。このようにデジタルコンテンツにおいて、個人やグループで

検討した内容を記録していくということになっております。こちらをそれぞれまとめていて、最終的には、企画書を作るという作業が盛り込まれております。主体的に様々な選択をしながら、社会参画を行う視点を養うことができるという点で工夫がなされております。

次に、日本文教出版の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。左ページ、まとめと振り返りの下半分、「ニュースを見方・考え方から見てみよう」では、現代的な諸課題を題材に、議論をしたり意見を表現したりする活動を行う上で、実際の新聞記事を基に課題を設定しております。生徒の興味関心と主体的に社会に参画する意識を高めようとしている点で工夫が見られます。

続いて、自由社の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。見開きのページに3か所、設定されております「ミニ知識」のコラムでは、学習内容に関する現代的な諸課題についての解説が充実しており、知識を深めるとともに、生徒の興味関心を高め、探究的な学習につなげる工夫が見られます。

続いて、育鵬社の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。こちらの「学習を深めよう」の特集では、企業の社会貢献やフェアトレード等、現代的な諸課題を取り上げ、資料を活用しながら、調べたり話し合ったりする活動を行うことができるように工夫がなされております。

それでは、最後に資料43、44ページ、観点のエ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。教育出版の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。本文の周りを御覧ください。薄いグレーの囲み線があり、図表と本文の境目が分かりやすくなっております。また、全体の色合いが抑えられており、学習課題、確認、表現の黄色い網かけや注釈のための青やピンクの印が、よく目立つ構成となっております。

続いて、日本文教出版の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。右ページの端を御覧ください。点字が掲載されており、実際に触って確認することができます。このような工夫は、この教科書にしかなく、実物に触れられるという点で工夫が見られます。

全ての観点の評価結果は、36ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、社会公民的分野の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、公民的分野の御質問をお願いいたします。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

先ほども同様の質問をしましたが、防災、減災とか事前防災とか、そのあたりについて公民的分野での扱って、各社どんな感じになっていきますか。

(伍賀指導主事)

自然災害や防災等の取組について、御説明いたします。各社、東日本大震災等を踏まえた様々な防災の仕組みや情報通信技術の発達を生かした防災、または、そこから派生したエネルギーとか環境の問題、そういったことについて、多様に取り上げております。

例えば東京書籍では126ページを御覧ください。例えば東日本大震災からの復興と防災ということで見開きのページで特集しており、持続可能なまちづくり等についての説明が行われていたりします。

また、教育出版、34ページを御覧ください。こちらでは、もしも、あなたの学校が避難所になったらということで、避難所の運営、それを行うようなゲーム、そういったことについて紹介されているなど、様々な特徴がある特集がなされております。

以上です。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

先ほど1社で18歳成人とか主権者教育について触れていただいたかと思いますが、ほかの出版社は、どういうふうになっているのか、もし可能でしたら、御説明をお願いしたいと思います。

(伍賀指導主事)

18歳成人、あるいは、主権者教育等について、御説明いたします。各社、選挙のことやメディアリテラシー等についての取上げがございます。特に特集として、18歳成人というのを取り上げているのは、紹介しました東京書籍の「18歳へのステップ」と、帝国書院の「18歳への準備」というものがあります。東京書籍は、先ほども述べましたように18歳と20歳の違いや選挙、内容的には消費者教育になりますが、契約と支払いについて特集をしています。帝国書院は、メディアリテラシーと、契約、ライフプランと金融というところについて、それぞれ取り上げております。その他各社、メディアリテラシー、あるいは、新聞の読み方、社説の見比べ、そういったところに関して載せているところがございます。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

吉井委員、お願いします。

(吉井委員)

公民の教科書、先ほど歴史の教科書を拝見させていただいて、そこで領土問題についても一応触れてあったと思いますけれども、そこで歴史の教科書と公民の教科書で、出版社が変わると、その表現が変わるとか内容が変わると、そういったことはございませんでしょうか。

(伍賀指導主事)

領土について、になりますけれども、各社それぞれ地理、歴史、公民、分量の違いはありますが、それぞれの領土の状況について、全社、取り上げておりますので、そこについて大きな違いというのはないかなと思っております。

(吉井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問等ありますでしょうか。

では、投票に入りますので、事務局お願いします。

社会公民的分野、東京書籍株式会社4票、株式会社帝国書院2票、よって過半数を超えておりますので、東京書籍株式会社の教科書を採択いたします。

引き続き、地図の審議へ参ります。事務局より説明をお願いします。

(伍賀指導主事)

それでは、社会地図の報告をいたします。資料45ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、帝国書院の2社です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに資料47ページ、観点のア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。こちらの「江戸・東京の鳥瞰図」では、都市の広がりや土地利用の変化について、立体的に捉えられるようになっていきます。地理的な見方だけでなく、歴史の授業でも興味を持って活用できるような工夫がなされております。

続いて、帝国書院の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きください。こちら

には日本とその周辺の国との交流について、大陸側から見た日本の地図が掲載されています。ふだんとは逆の新しい見方ができるだけでなく、時代ごとの交流の変化も矢印等で詳細に示されており、歴史の授業での活用を強く意識した工夫が見られます。このように歴史との関わりや新たな見方を提示することを意識した地図が、この教科書には多数掲載されており、特徴であると言えます。

では、次に資料48ページ、観点のイ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。こちらには領土問題について、写真や地図だけでなく、歴史的な背景についての詳細な説明が見開きにまとめられています。さらに日本周辺の地形や海流等の情報も示されていることで、様々な視点から考察を行うことができるよう工夫されています。

続いて、帝国書院の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。右ページの右上、オレンジの囲みを御覧ください。世界の各地域の学習において、どの地域にも日本との結びつきを示した地図が掲載されています。交易の様子と比較、あるいは、国同士の関係性の特徴などについて考察することで、グローバルな視点を獲得できるよう工夫されています。

次に、資料49ページ、観点のウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。SDGsに関するデジタルコンテンツとしまして、出版社によるSDGs特設サイトにつながります。モニターを御覧ください。このようにそれぞれの目標について調べ、動画をこの中では視聴することができるなど、探究的な学習につながる情報が、それぞれ配置されています。

次に、帝国書院の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。この教科書は日本の各地域の学習の部分において、その地域で起こり得る災害や防災、そういったことに関する地図が充実しています。例えば近畿地方では、この教科書を縦に見ていただいて、上側のページですが、「神戸市付近の地震災害への備え」の地図や、長田中学校の防災の例が取り上げられています。こういったことで、神戸の生徒の防災への関心や探究意欲を高めることができます。

では、最後に資料50ページ、観点のエ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。東京書籍の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。全体的に凡例の色が濃淡で示され、地形の高低が立体的な色調で表されている等、生徒にとって見やすいように工夫されています。

続いて、帝国書院の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。こちらは全体的に凡例の色の種類がくっきりとしており、全体を通して色分けが明確で、生徒にとって見分けが付きやすい工夫がなされています。

全ての観点の評価結果は、46ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、社会地図の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、御質問等がございましたら、お願いします。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

地図帳の場合は、あんまり関係ないかもしれないですけど、先ほど1点デジタルコンテンツを拝見しましたが、もし、ほかにもあるようでしたら、少し御紹介いただければと思います。

(伍賀指導主事)

デジタルコンテンツについて、御紹介いたします。地理等の部分でも、それぞれお伝えしておりますけれども、東京書籍は、「My Globe」ということで、地球の様子を見ることができるようなものであったり、雨温図を、気温と降水量を表したグラフを比べるというような活動をしたりということで、デジタルコンテンツは比較的充実しているのかなと感じます。帝国書院も「ジオグラフ」の使用や、また、SDGsについての紹介、東京書籍の方はしましたけれども、帝国書院は、外部へのリンクがそれぞれ貼られておりまして、特設ではないですが、調べ学習を行うことができるようになっております。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ございますか。

今井委員、お願いします。

(今井委員)

本当に、この地図を通して、ほかの地域とか海外とかに、興味や関心を持っていただけると、いいなと思います。子供の目線から見たときに、わくわく感というか、そういう興味・関心を引き出すような工夫が、それぞれされていると思いますが、そういう点を少し御紹介いただいてもいいですか。

(伍賀指導主事)

生徒から見て、興味・関心が湧くような特徴というところで申し上げますと、もうそれは本当に両者いろんな工夫をしております。先ほど観点アで申し上げましたように鳥瞰図のような形で、立体的に感じることでできたりとか、ふだんと違う角度から眺めることで、

新しい見方ができたりとか、そういった部分で両者ともに歴史等でも活用できるような資料というのは、非常にたくさん設けられておりますので、興味・関心は、どちらも活用する中で高めていけるのではないかと考えております。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかによろしいでしょうか。

では、なければ投票を行いますので、事務局よろしく申し上げます。

社会科地図ですが、株式会社帝国書院6票、よって過半数を超えておりますので、株式会社帝国書院の教科書を採択いたします。

これで午前の審議を終わり、昼休憩に入ります。午後は12時50分より開始したいと思います。

では、昼休憩に入ります。

(休憩)

それでは、午前に引き続き審議を進めたいと思います。数学について、事務局から説明をお願いいたします。

(橋場係長)

数学の報告をいたします。資料51ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館、数研出版、日本文教出版の7社、21点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料53ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、説明いたします。東京書籍、2年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページをお開きください。左側のページの中央の右側にあります、「ちょっと確認」という矢印のマークがついた注釈を御覧ください。この「ちょっと確認」で、既習事項のうち、つまずきの多い内容を確認することができます。また、このページのデジタルコンテンツの中に、ちょっと確認があります。

では、前のモニターを御覧ください。今映っておりますデジタルコンテンツが、この「ちょっと確認」になります。このように問題、これは小学校の算数の問題の速さのところですが、問題がございまして、ここに答えを入力して、間違いであれば、やり直しができる、正解であれば、次に進むというようなコンテンツが用意されております。データとコンテンツのフラッシュカードの問題で学び直しができるように工夫されています。

では、次に、学校図書、3年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページをお

開きください。左側のページでは、二次方程式の解き方につきまして、初めに因数分解と平方根の2つの考え方が提示されています。二次方程式の解き方の概要を大まかにつかんでから、具体的な解き方を学習することで、見通しを持って、より深く理解できるように工夫されています。

続けて、数研出版、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページをお開きください。右側のページのように新しい章の学習に入る前、その章の学習内容につながる既習事項を振り返る、振り返りのページが設定されています。新しい章の学習に必要な既習事項がコンパクトに分かりやすくまとめてあると同時に、ホームページのデジタルコンテンツで確認問題に取り組めるようにしているなど、生徒が学習内容のつながりを知り、必要な知識、技能を確認できるような工夫がなされています。

次は、資料55ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。教育出版、3年生の教科書をお取りください。水色の付箋のページをお開きください。右側のページの間7では、2通りの計算の仕方が取り上げられており、複数の考え方を比較する場面や誤った考えを意図的に取り上げる場面を設定し、論理的に考察したり、考えを伝え合ったりする活動を通して、思考力、判断力を高める工夫がなされています。

次に、啓林館、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋のページをお開きください。このページは章末問題のページですが、解答は教科書の巻末ではなく、デジタルコンテンツに納められており、それに伴って解説の内容が充実しています。丁寧な解説とともに解説動画も用意されており、生徒が自分の解き方との違いを比較したり、動画を見て復習をしたりすることができるようになっております。

前のモニターを御覧ください。このページのデジタルコンテンツになります。問題がございまして、解答がこのように書かれています。それから、解説動画というものが用意されております。

では、次に、数研出版、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋のページをお開きください。右側のページの真ん中のトライ1では、平行四辺形に共通する特徴を見つけるといふ課題が提示された後、課題の解決ために、何に着目し、どのような予想し、何を使って確かめるとよいかを会話形式で示されています。このような見方・考え方を示し、生徒に問題解決の見通しを持たせる工夫が随所に見られます。さらに、実際に図形を操作できるデジタルコンテンツが用意され、生徒が自分で図形の特徴を発見したり確かめたりできるように工夫されています。

前のモニターを御覧ください。このページのデジタルコンテンツになります。コンテンツは、このように図形の形を、特徴を保ったまま変形するようなものですが、こういったものは、他社でも用意されていますが、このコンテンツの特徴は、例えば角度を測って表示させることができますので、同じ大きさの角であるかということ直感的に図で見て理解するだけでなく、数値的に確認するようなこともできます。さらに自分で点を取っ

たり線分を引いたりすることで、1から図形を作図することもできますので、探究的に図形を学習するようなツールにもなっております。機能が豊富で汎用性が高く、数学を探究するツールとして使えるコンテンツとなっております。

では、次に、日本文教出版、1年生の教科書をお取りください。水色の付箋のページをお開きください。297ページから312ページにかけて、本文中の集団的活動で使用するワークシートが用意されております。考えをまとめたり話し合ったりする際に活用することで、生徒が自分の考えを整理しながら、言語活動に取り組むことができます。

次は、資料57ページ、観点2、探究する意欲を高める工夫について、御説明いたします。各社とも章のとびらや章末問題、コラム等で、日常生活や職業と数学との関わりを伝える工夫をしております。その中で、学校図書、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋ウ、①のページを開きください。右側のページを御覧ください。このページの上部右側に、数学的活動と書かれたオレンジ色の矢印があります。このように各章に数学的活動のページが設けられており、さらに、そのページの右側にはグレーの帯で問題を見つけようから始まる学習過程が示されています。

ページをめくっていただきまして、緑の付箋ウ、②のページをお開きください。この右側のページのグレーの帯の中ほどに、新たな問題を見つけようとして書かれています。このように数学的活動の学習過程に新たな問題を見つけようという学習活動を組み込むことで、問題を解決した後のさらなる深い学びにつなげる工夫がされています。

次に、教育出版、2年生の教科書をお取りください。緑の付箋ウ、③のページをお開きください。データの活用について学習をする場面で夏日が減少傾向にあるというのは本当かどうかを、実際の気温のデータを基に考える活動が取り入れられています。

ページをめくっていただきまして、緑の付箋ウ、④のページをお開きください。このページでは、先ほどの導入で使ったデータを箱ひげ図というグラフに表しています。右下の箱ひげ図を見ると、一目で夏日が減少傾向にあることが分かります。数学を使って真実を見いだす活動を通じて、数学のよさを感じることができる工夫がなされているとともに、データの傾向が読み取りやすいグラフが使用されています。

続けて、数研出版、3年生の教科書をお取りください。緑の付箋ウ、⑤のページをお開きください。左側のページを御覧ください。問題が提示された後、どのような見方・考え方を働かせるのかが分かりやすく示されています。教科書に生徒の目線で思考の流れが示されていることから、教師の説明を短くし、対話的な活動や、じっくりと考える活動を取り入れることが可能となっております。教科書全体が数学的活動を通して学ぶという数学の学び方を意識した構成になっており、暗記や形式的な問題練習などではなく、問題を見だし、解決する活動を通して、知識、技能や思考力、判断力、表現力を身につけることができるようになっていきます。神戸市の生徒の数学の学力の傾向として、知識、技能に比べ、思考力、判断力、表現力に課題があることが、全国学力・学習状況調査の結果などから分かっております。神戸市の生徒の学力上の課題を改善する上で、日々の授業で数学的活動

を通して学ぶことは有効であると言えます。

最後に、資料59ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。観点エにつきましては、各社とも、どのような生徒にも使いやすい教科書になるよう一定の対応をしています。

その中で、大日本図書、2年生の教科書をお取りください。黄色の付箋のページをお開きください。左側のページの上部に2つの数の組が縦と横に交差している図があります。この図では、連立方程式の解が2つの方程式のどちらにも当てはまる解であることが視覚的に表現されています。このような工夫は、どのような生徒にとっても、直感的に理解する上での手助けになります。

全ての観点の評価結果は、52ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。以上で、数学の教科書の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

委員の皆様から質問を受けたいと思います。何か御質問ありますでしょうか。
今井委員。

(今井委員)

数学は本当に積み重ねが大事で、どうしてもどこかでつまずいてしまうと、なかなかその先に進めないというところもあると思うので、やっぱりつまずいたときに、生徒さんたちが戻って、自分でも理解しやすい教科書であることは、すごく大事なかなと思いますが、そういう観点で見たときに、各社さん、どういう工夫がなされているかを1点教えていただきたいです。あと、もう一点、先ほどデジタルコンテンツを見せていただいた中でそこに計算した数値を入れて、丸とかバツとか出るのは、すごく子供たちが取り組みやすくていいなと思いましたが、ほかの会社さんにも同様に画面上で入力して丸バツの判定が出るような、そういう同じような機能があるのか、ないのか分かる範囲で教えていただけますでしょうか。

(橋場係長)

2点、御質問にお答えいたします。まず、つまずきという部分ですけれども、各社の特徴になるのですが、学習の進め方をスモールステップに分け、説明と課題を組み合わせている教科書と、課題とそれに対する書き方というか、やり方が丁寧に書かれてある教科書と、活動を通して、その意味を理解するような形で構成されている教科書と、大きくそのような視点で捉えることができると思うのですが、まず、そのつまずく原因というのが、いろいろあるとは思いますが、授業の中の課題で言いますと、教師の説明が長くて、その説明を聞くことが理解と同時進行で進みますので、自分のペースでは学習ができないというところで、つまずくというところがございます。そういう意味では、初めの理

解するところで学習活動を通して、それは対話的なことも含めまして、じっくりと考えたりとか、そこで質問をしたりとか、そういったことができることが大切であると考えられます。そういう意味で言いますと、活動を通して学習するという工夫がされている教科書が、まずは有効です。あとは、積み残しや、理解不足を補うためというところで行きますと、やはり復習問題が充実しているということはあると思いますので、デジタルコンテンツでドリル的に取り組むようなことができるものが生徒にとっては取り組みやすいのではないかと考えます。

2点目の他社でもコンピュータ上の問題を解くようなものがあるのかというところなのですが、デジタルコンテンツの中に、コンピュータ上で正解であれば丸が出て、バツがついてという問題は、先ほど紹介いたしました東京書籍の中には含まれておりますが、ほかにも啓林館のところに練習問題が入っていたり、あと、数研出版のところにもコンピュータベースの練習問題が入っていたりしております。

以上です。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますか。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

数学なので、数学的な論理を鍛えるというか、論理的思考力を鍛えるということがすごく大切だと思いますが、そのあたりについて、この教科書は、どんなふうに使えるのか、そのあたりを御説明いただきたい。

(橋場係長)

では、論理的思考力をどのように鍛えていくかというところでは、論理的な思考力を身につけるということは、数学の随所に取り入れられているわけですが、例えばその中で、証明の学習をするような場面がございますが、証明では仮定と結論という関係が非常に大事でして、そこの論理の進め方というところを、実感しないと、どういうことをやっているのか分かりにくいところがございます。そこで言いますと、最初、その証明の論理的なところがすごく出てくるのが、2年生の平行線のところからになってくるのですが、そのところで平行線に対して、もう一本線を足したときの同位角、錯角というような角の関係を学習する場面で、7社のうちの6社につきましては、平行線が描かれた図が教科書にあって、それを観察して、どことどの角が等しくなるのだろうかというような

取扱いなのですが、1社につきましては、平行ではない図をスタートにして、この図を平行にしたら、どういうことが起こるかというふうな考える場面を設定しています。その1社が数研出版ですけど、そのように論理の最初の部分にある仮定のところを、もし、こうすればというふうに扱っているというところが、授業としては扱いやすいと考えております。

以上です。

(福本教育長)

ほか、数学に関しまして、山下委員、お願いします。

(山下委員)

今の数学、説明型といいますか、あるいは、授業の中でも、1人で問題を解くだけじゃなくて、クラスメイトとディスカッションをしたりするというような形になっていると思いますが、それぞれの教科書で、そういう言語的な活動について、どんなふうに扱われているか、もう少し説明を追加していただければありがたいです。

(橋場係長)

御説明いたします。教科書の中に、話し合ってみようですか、そういったワードで、ここは話し合いをしながら解決する場面ですよということを提示しております。あるいは、先ほど数学的活動という、各社そういった流れを示している中で、ここは話し合おうというふうな設定をしている、それが1つ目です。もう一つが、課題を提示したところで話し合うような場面を、初めから想定していて、問題解決の方法を見つけていきましょうというふうな学習活動にしているというのが2つ目でございます。扱いとしてはその2つがあります。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに数学の御質問等はございますか。

では投票を行いますので、事務局、お願いします。

数学ですが、数研出版株式会社6票、よって過半数を超えておりますので、数研出版株式会社の教科書を採択いたします。

では、教科書を入れ替えます。

それでは、続きまして、理科の審議に入ります。事務局、よろしく申し上げます。

(駕海係長)

理科の報告をいたします。資料61ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館の5社、15点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。初めに、資料63ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。東京書籍、2年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋を御覧ください。左ページ下側に分析解釈というものがございます。分子モデルをつくろうという記載がございます。従前であれば、発泡ポリスチレン球や円形の紙モデルで考えるところでデジタルコンテンツが用意されております。

前のモニターを御覧ください。下に原子のモデルがありまして、生徒がこのように自由に原子を持ち出して、分子とかをつくることができます。また、プラスとか矢印が用意されていますので、化学反応式をモデルで考えることもできます。このように東京書籍はデジタルコンテンツが充実しており、このモデルのほかに回路図や実験結果の考察のコンテンツでは、生徒が端末で試行錯誤しながら操作ができ、主体的な学びが可能となっております。

学校図書、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋を御覧ください。見開き両ページにわたって「理路整然」というコラムがございます。探究の考え方や他者に伝わるレポートの書き方、実験の条件設定など、観察・実験の技能について、具体例を挙げながら提示されております。

続いて、啓林館、2年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋を御覧ください。左ページに実習1として、分子のモデルづくりがございます。

前のモニターをまた御覧ください。啓林館も先ほどと同様に原子モデルで分子モデルを自分たちで作る等、一人一人が操作できます。モデルカードとして日本語の書いてある原子モデルや化学式カード、物質名カードも用意されております。このように啓林館はデジタルコンテンツが充実しており、このモデルのほかに回路図や実験結果の考察を、生徒が端末で試行錯誤しながら操作ができ、主体的な学びが可能となっております。

次は、資料64ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。東京書籍、1年生の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きください。左ページ上端に、「じっくり探究」と書かれております。各単元に、「じっくり探究」が用意されており、問題発見から活用までの探究の流れが細かく記され、探究の仕方を意識して、観察・実験に取り組むことができるような工夫がなされております。

次のページにわたって書いてあります。89ページまでにわたって振り返りまでですね。そういったものが記載されております。

続いて、教育出版、1年生の教科書をお取りください。水色の付箋を御覧ください。左側ページ、このページを一枚めくっていただき、もう一枚めくっていただきますと、左側ページを中心に、兵庫県南部地震を用いた実習が取り上げられております。身近な場所で

起こった地震について思考を深め、防災学習等にもつなげることが可能となっております。

続きまして、啓林館、1年生の教科書をお取りください。水色の付箋1Aをお開きください。右ページ上に「探究実験」という表記がございます。各単元に、このような「探究実験」が準備されております。それに対応したプリントが、巻末に用意されております。同じ教科書のもう一つの水色の付箋1Bを御覧ください。折れ曲がっておりますが、広げると、切離し可能となっているシートが用意されております。各学年4種類用意されております。生徒が主体的に観察・実験に取り組むことが可能となっております。

同じ教科書の水色②を御覧ください。左ページ下側、「動画でチャレンジ」というコーナーが全ての単元末に用意されております。動画から情報を読み取り、既習事項を新しい場面に生かす工夫がなされております。

前のモニターを御覧ください。問題が左側に書かれております。この問題に答えるために、この動画を見て、自分たちで考えます。このように動画で考える問題を用意されております。来年度、全国学力・学習状況調査で、中学校3年生の理科のみですが、生徒のパソコンを使った調査が実施されます。その練習となるのではないかと思います。

同じ教科書の水色③の付箋を御覧ください。見開き両ページ、次を一枚めくっていただき、もう一枚めくっていただくと、先ほどと同様に兵庫県南部地震を実習に取り上げております。身近な場所で起こった地震について思考を深め、防災学習等につなげることが可能となっております。

次は、資料65ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。東京書籍、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋を御覧ください。右ページ下側に「学びを生かして考えよう」というコーナーがございます。章末ごとに用意されており、学習したことを日常生活や社会と結びつける問いが設定されていることで、学びを広げたりできるような工夫がなされています。

学校図書、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋を御覧ください。右側ページに「理路整然」、また、巻末には巻末資料として準備がされておりますが、科学的な見方・考え方が生活の中で役立つ場面や、身の回りで科学技術が使われている物事を紹介し、生徒の学習意欲を向上させる工夫がなされております。

続いて、啓林館、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋を御覧ください。右ページ、右半分に「アクション」というコーナーがございます。章末ごとに、こういうコーナーが用意されており、学習によって得られた知識や概念を日常生活の場面などに活用する課題設定がなされております。これより科学的思考力が育成されるとともに、課題解決能力が、さらに高まる工夫がなされております。

最後に、資料67ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。東京書籍、1年生の教科書をお取りください。黄色の付箋を御覧ください。両ページ上半分に、大きくレポート、スケッチの例が書かれております。このように東京書籍は写真や図、スケッチ、レポートの例が大きく掲載されており、視覚的に分かりやすい紙面となっ

ております。

教育出版、1年生の教科書をお取りください。黄色の付箋を御覧ください。両ページにわたって見ていただきますと、文字のサイズが大きく、行間も広いため、全体として紙面がゆったりとしたつくりになっております。

啓林館、1年生の教科書をお取りください。黄色の付箋を御覧ください。単元導入や章導入では、不思議な現象や興味深い現象の写真を大きく掲載しております。また、全ての章の導入時には動画が用意されており、生徒の学習意欲を喚起する工夫がなされております。全ての観点の評価結果は、62ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、理科の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、理科の御質問のところを伺いたいと思います。何か御質問がある方は、よろしくお願ひします。

本田委員、お願ひします。

(本田委員)

このデジタルコンテンツ、幾つか御紹介いただきましたが、子供たちが使いやすいというか、子供たちにとって有効だと思われるものが、もし何かありましたら教えてください。

(鴛海係長)

5社ありまして、1社はデジタルコンテンツが一部のみしか紹介されておられません。1社は、ちょっと数が少ないかなと思っています。特徴的なものを御説明させていただこうかなと思います。

前を御覧いただいてよろしいでしょうか。東京書籍の3年生の地学分野の話です。夜の話ですので、なかなか実体験ができないということで、月が何時に、どの方角に見えるかというシミュレーションを行っております。このように地球の自転で人が立つ位置が変わります。それによって地球の人の位置と月の位置が変わることにより、月の形が変わること。また、何時にどの方角に見えるかということが可能かなと思います。

あとは、啓林館ですね。啓林館では、練習問題等で公式を使った問題等を、お家で考える際つまづきがあるときに、丁寧な解説が自宅でも見られる工夫がなされているかなと思います。

以上です。

(本田委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問はないでしょうか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

理科の場合、物化生地分野があつて、先生方、例えば若い先生だったら、大学で専門にされたことと違うことを教えることもあるのではないかと思います。授業経験等、それほどお持ちでない先生方にとってこれらの教科書に関してどのような使い勝手があるのか、もし何か分かる範囲で教えていただけたらと思います。

(駕海係長)

どの教科書も、理科は探究が全てですので、探究について学ぶ過程が全ての教科書になされております。ですので、そういった意味では、どの教科書会社も、すばらしいつくりにはなっているとは思いますが。

その中で例を挙げて申しますと、東京書籍の1年生の教科書をお取りいただいてよろしいでしょうか。青色の付箋イのところをお開きください。同時に啓林館、1年生の教科書のイの①Aの教科書をお開けいただいて見比べていただけますでしょうか。同じような1年生の化学分野での未知の白い粉を同定するところで、先ほども御覧いただきましたが、何ページか見比べていただいてよろしいでしょうか。東京書籍は、すごく教科書が丁寧なつくりになっております。ですので、このとおりに授業をしていけば、決まった授業ができるかなと思います。一方で、啓林館の教科書、139ページ、「探究実験1」と書いてあるところ、まず、半ページで一通り課題から考察までを提示されております。これでは、少し難しいなということになると、めくっていただいて、見開きで探究実験1の例ということで、少しヒントが与えられているというようなことになっております。授業の初任者、若い教師にとって、やりやすいのはどちらかといわれたら、全て提示されている方ではないかと思いますが、授業のパターンが固定化されてしまうという可能性もございます。神戸で育てたい子供たち、科学的リテラシーですね。自分で未知の課題に対して納得解を出せるというような子供を育てたいときに、やはり自分で思考・判断・表現をできる生徒を、やっぱり神戸はつくっていかないといけないかなと思っておりますので、いろいろバリエーションがあるほうがいいのかという考えではあります。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

今御紹介されたのは、この二社で同じような実験をするのに、その実験の紹介の仕方とかが違うということが分かりましたが、他の発行者、他の実験について、何か教科書ごとで特徴みたいなものはありますか。

(鴛海係長)

大体主要な実験に関しては、先ほど見ていただいたようなつくりになっております。使うものも身近なものというか、使いやすい実験や観察の素材を扱っておりますので、基本的には同じようなつくりにはなっております。そこの中にコラムをどのくらい入れるかとか、先ほど見ていただいた途中にガスバーナーの説明が入っていると、そういった構成の違いかなとは思っております。

以上です。

(福本教育長)

他に御質問はございますか。

それでは、投票に入りますので、準備をお願いします。理科ですが、株式会社新興出版社啓林館6票。よって、過半数を超えておりますので、株式会社新興出版社啓林館の教科書に採択いたします。

それでは、教科書を入れ替えますので、お待ちください。

それでは、音楽一般の報告に入りますので、事務局、説明をお願いします。

(山越指導主事)

音楽一般の報告をいたします。資料68ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、教育出版、教育芸術社の2社、6点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。

初めに、資料70ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。教育出版、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋の左ページを御覧ください。「夏の思い出」や「花」などの学習指導要領で定められている3年間で取り扱うべき歌唱の共通教材について、上部にある二次元コードから風景と音源を試聞できるものが多く、自分の持ったイメージや感情と曲の背景などに関わらせて捉えることができます。

では、その中から「赤とんぼ」の動画をモニターで御覧ください。中学生が余り見たこ

とのない「桑の実」について授業で説明いたしますが、そういったものも、こういった動画から見て確認することができます。

では、次は、教育芸術、2・3年下の教科書をお取りください。ピンクの付箋アの①Aを御覧ください。右側のページの下の方にある二次元コードから、パート別の歌の入った音源やピアノ伴奏を、生徒が個別に聴くことができます。では、この花のパート別音源からアルトのものをお聴きいただきたいと思います。主旋律と違う、こういった音源についても、繰り返し聴きながら練習することができるようになっております。ほかにも同じ教科書のピンクの付箋ア①のBを御覧ください。2ページにあります「MY VOICE」では、歌う際のポイントがまとめられています。ポイントをつかんだ上で、先ほどのようなデジタルコンテンツを活用して、個別に練習を繰り返すことができるなど、必要な機能を主体的に身につけることができます。

また、同じ教科書のピンクの付箋アの②、左側のページを御覧ください。西洋音楽の鑑賞教材では、二次元コードから掲載されている楽譜に合わせた音源や、各楽器の音色などを聴けるようになっており、デジタルコンテンツを活用して、生徒が個別に音楽の構造を捉えることができます。

次は、資料71ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。教育出版2・3年上の教科書をお取りください。水色の付箋の左ページを御覧ください。上部に「ACTIVE!」と書かれていますが、音楽表現の創意工夫を行ったり、音楽を聴き比べたりする際に、こういったコーナーなどで言語活動を取り入れながら、聴き取ったことや感じ取ったこと、思いや意図などをまとめられるような構成になっています。

続いて、教育芸術2・3年上の教科書をお取りください。水色の付箋をお開けください。左ページ上部に「My Melody」とありますが、こちらは創作の教材です。教育芸術社の創作のページでは、右側のページにある①から⑤のように手順が示されているだけでなく、考えた音楽を簡単な操作で入力して、即座に音で確認することができるデジタルコンテンツを利用することができます。それによって簡単に音やリズムのつなぎ方を試行錯誤したり、作った作品について友達と音を聴きながら意見交換したりしながら創意工夫をすることができるため、主体的な学びや対話的な学びにつながります。

では、モニターを御覧ください。創作ツールを御覧いただきたいと思います。ここでは、このように音を自分で選び、それを即座に確認することができます。気に入らなければ、その場で変えて、また試すことができるようなつくりになっております。

次は、資料72ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。教育出版、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋の右ページを御覧ください。上部に「Let's Try」とありますが、このコーナーでは、学びを生かして発展させる課題が提示され、生徒が主体的に学習を深めることができます。ここでは1つ前にページをめくっていただきますと、日本とアジアの声による様々な表現について、鑑賞をします。そ

の後で、インドネシアの民族音楽、ケチャを体験し、音楽の多様性を実感するというつくりになっております。

続きまして、教育芸術、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋ウ①をお開けください。左ページ上部に「学びのコンパス」のマークがあります。このページでは、学びの手だてが示されており、見通しを持つことができることに加え、さらに学習を進めるための視点が、右ページの4から7のように、「深めよう」として示されるなど、主体的に課題を深めることができます。

また、同じ教科書の緑の付箋ウ②をお開けください。見開きのこのページでは、自分や自分の周りの世界と音楽との結びつきを見つけて、主体的に音楽と関わるができるよう、様々な場面での音や音楽を紹介する生活や社会の中の音や音楽というコーナーが各学年にあり、豊かに音楽と関わっていく力を身に付けることができます。

最後に、資料73ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。教育出版、2・3年下の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開けください。ここでは、目次が学習内容ごとにまとめられています。

さらに1つめくっていただきますと、学習マップのページがあり、目次と関連させて、学習内容を理解しやすいようになっています。

続きまして、教育芸術、1年生の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開けください。左端に緑色の背景で、学習目標が音色、テクスチャなどの音楽を形づくっている要素が縦書きで書かれ、曲の紹介や注目するポイントなどは、曲名の下に緑の枠や、横にありますつり下げ看板の枠に書かれています。各教材において同じ位置、同じような背景色で配置することによって、統一感があり、見やすいようになっています。

全ての観点の評価結果は、69ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、音楽一般の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、音楽一般の御質問を受け付けます。何か御質問のある方はいらっしゃいますか。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

デジタルコンテンツの扱い方に、両社の何か違いとか特徴みたいなものがあれば、教えていただきたいです。

(山越指導主事)

デジタルコンテンツの特徴について、御説明いたします。両社ともデジタルコンテンツは随所に配置されており、二次元コードから見るできるようになっております。教育出版は、例えば先ほど見ていただきました音源といいますか、映像と一体化したもので

すとか、それから、どのような歌かということが分かるような音源ですとか、ワークシートですとか、そういったものが配置されております。また、創作のところでは、こういう音素材を使って創作をします、というような音素材の見本の音源が配置されております。

もう一方の教育芸術社ですが、こちらは御覧いただきましたようなパート別の音源、伴奏だけの音源、曲の解説のテキスト。御覧いただきました書き込みができる創作ツール。それから、鑑賞に関しましても、教科書に載っている楽譜に合うような形に切り分けられた音源。その他、演奏家からのメッセージ動画等もあります。豊富な種類、質のものが準備されております。

以上です。

(福本教育長)

ほかに質問ありますでしょうか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

僕の質問が1点と、全体に関わる質問が1点で、1つは、「音楽を形づくっている要素」という言葉がありました。教科書のどこかに説明があるかもしれませんが、もしよかったら、御紹介いただきたいというのが1つです。

もう一つは、今回、音楽は2社ということですが、拝見していると内容が重なっているのかなと思いつつ、編集方針みたいなのが違うのかなとか思ったりしましたので、もし、両社で特徴があるとすれば、どういったところかっていうことについて、少し御説明を加えていただければと思います。

(山越指導主事)

では、まず、「音楽を形づくっている要素」ということですが、端的に言いますと、音楽的な特徴ということですが、学習指導要領に書いてあります。音楽的な見方・考え方というものの中に、「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっているその働きの視点で捉え」というようなことが示されております。ですので、音楽の学習する上では、その音楽の中でどのような音楽の特徴があつて、それがどういった感受と申しますか、感じ方をすることにつながっているのかということをお必ず学習する場に位置づけるということになっています。学習指導要領には音色、リズム、速度、旋律、テクスチャー、強弱、見識、構成などというふうに示されております。そのことが教育芸術社の教科書には例として、これが取り上げられていますよということが示されるということをお観点エ「ユニバーサルデザインの観点」で御説明しました。

それから、各社の特徴ということですが、教育出版社は図版が大きく、間隔が広く、すっきりとまとめられていて、ぱっと見たときに見やすいかなというところが大き

な特徴でございます。もう一つは、2つ以上の複数の教材を比べながら、1つの学習目標に向かってやっていくというようなことが、「比べてみよう」とか、そういったところで明示されているということが大きな特徴でございます。

対しまして、教育芸術社は、デジタルコンテンツが質量とも豊かであるということが、1点大きな特徴でございます。もう一つは、イラストと吹き出しが随所に掲載されておりまして、その中で、こういうことについて考えてみようとか、これはどうなのかなとかいうようなことが、会話の形で掲載されていることで、言語活動を進めるに当たって、子供たちも、こういうことをしゃべればいいのかとか、あるいは、教員にとっても、こういう話ができるように投げかけていけばいいのかというようなことが、ヒントとして書かれているといった特徴がございます。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありませんか。

では、投票に入りますので、事務局、お願いします。音楽の一般ですが、株式会社教育芸術社6票、よって過半数を超えておりますので、株式会社教育芸術社の教科書を採択いたします。

引き続き、器楽のほうの審議に入ります。事務局、説明をお願いします。

(山越指導主事)

音楽器楽合奏の報告をいたします。資料74ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、教育出版、教育芸術社の2社、2点です。

では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。初めに資料76ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。

教育出版の教科書をお取りください。ピンクの付箋の左ページから順に御覧ください。奏法の説明に合わせて、少しずつ難易度が高くなる練習曲が掲載されています。例えば左ページでは、「ミ」の音だけでタンギングに注意して演奏しますが、右ページの下では、3つの音で演奏するようになっています。

1ページめくっていただきますと、左手だけで演奏できる5つ音になり、さらに1つめくっていただきますと、右手の指も使って演奏するようになっています。このように段階を追って、無理なく技能が身に付けられるような構成になっています。

続いて、教育芸術の教科書をお取りください。ピンクの付箋ア①をお開けください。ほぼ全曲に伴奏の音源のデジタルコンテンツがあり、二次元コードから生徒の学習用パソコ

ンで聴くことができます。授業以外のときにも伴奏に合わせて個別に繰り返して楽器の演奏に取り組むことができるため、必要な技能を身に付けるための練習に主体的に取り組むことができます。

では、ここにあります「海に見える街」の伴奏音源をお聴きください。この曲では伴奏に合わせてリコーダーを練習することが想定されております。

また、同じ教科書のピンクの付箋アの②、左ページを御覧ください。左下の「糸の響き」のように、楽器に関するミニコラムや奏法に関する用語の説明、楽譜の見方の説明など、豊富な情報が掲載されており、楽器について深く理解することができます。この「糸の響き」では、箏の弦が弾く位置によって、響きが異なることが説明されており、音色を工夫する際に必要となる知識を習得することができます。

次は、資料77ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。教育出版の教科書をお取りください。水色の付箋、左ページを御覧ください。「表現の仕方を調べよう」のページでは、鑑賞したり学習を振り返ったりしながら、複数の楽器を比較することで、楽器の特徴を捉えられるようになっていきます。また、下のほうにあります「話し合おう」において、言語活動を通して学習を深めることができます。

続きまして、教育芸術の教科書をお取りください。水色の付箋の右ページを御覧ください。上部に「学びのコンパス」のマークがあります。このコーナーでは、学びの流れに沿って注目するポイントや手だてが示されています。イラストと吹き出しによって会話の形で示されることで、目指す演奏表現のイメージを描きやすく、対話的、協働的に創意工夫を深めていくことができます。

次は、資料78ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。教育出版の教科書をお取りください。緑の付箋の右ページを御覧ください。このページでは、日本と西洋の弦楽器を比較して、それぞれの特徴から共通点や相違点を見つけます。

その後、1ページめくりますと、発展として世界の様々な弦楽器を知り、人や物の移動、楽器の材質、生活様式などとの関わりを考えることで、生徒が音楽文化と豊かに関わるすることができます。

また、1つ戻っていただき、左ページを御覧ください。上部に「深めてみよう」と書いています。このコーナーでは、少し難易度の高い課題に挑戦したり、新しい奏法に取り組んだりする課題が示されており、発展的に音楽表現を高めていくことができます。

続きまして、教育芸術の教科書をお取りください。緑の付箋ウ①を御覧ください。巻頭の特集では、写真とともにデジタルコンテンツによって、様々な角度から音楽文化と関連づけて、主体的に学習する意欲を高め、生徒の世界が広がるような工夫がなされています。こちらの見開きページでは、教材として取り上げられている曲を演奏しているドラマーからの動画メッセージがあり、ライブ演奏についての思いを語っています。

また、1つめくったページでは、世界の楽器の演奏場면을視聴することができます。

それでは、モニターを御覧ください。このページからカメルーンの「アイタ」の動画を御覧ください。このように初めて体験する楽器、初めて見る楽器の映像と音を確認することで、生徒が強く興味を持つことができるようになっております。

また、同じ教科書の緑の付箋ウ②を御覧ください。左下にあります写真を御覧ください。各楽器の紹介では、楽器の歴史や構造、種類のほか、様々な演奏場面が写真によって紹介されており、生徒は伝統楽器を初めとして、様々な楽器を身近に感じることができます。ここでは、下部で写真によって、太鼓を使った各地に伝わる郷土の祭りや芸能について紹介されています。

最後に、資料80ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。教育出版の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開けいただき、左ページのギターの写真を御覧ください。教育出版の教科書は、写真や図が大きく、奏法など体の使い方などについての写真が豊富なため、細部まで確認することができ、初めて、その楽器に触れる生徒にも理解しやすいようになっています。

続いて、教育技術の教科書をお取りください。黄色の付箋の右ページを御覧ください。図版と合わせてデジタル資料を確認して、奏法を理解することができるよう、二次元コードが各ページに配置されています。また、それら二次元コードの配置されている場所も同じような位置に配されています。デジタルコンテンツの内容が文字で書かれていることと合わさって、大変利用しやすくなっています。

全ての観点の評価結果は、75ページの一覧表に掲げてありますので、御覧ください。

以上で、器楽合奏の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、質問がございましたら、お願いします。正司委員、お願いします。

(正司委員)

少し紹介の中でもあったかと思いますが、生徒たちが教科書を見て、もっと演奏してみたいとか、自習で何か演奏できるとか、そのあたり教科書並びにデジタルコンテンツの工夫が各社されているのではないかなと思うのですが、そのあたりを少し説明していただきたい。

(山越指導主事)

子供たちがデジタルコンテンツを使うというところではございますが、各社の特徴といたしましては、教育出版は楽器ごとに姿勢や構え方、音の出し方、演奏の見本、練習曲の見本といったデジタルコンテンツが用意されております。奏者から見たアングルの角度等もあり、演奏しながら、こう見えるのかところが確認できるようになっています。説明はテ

ロップで流れるようになっていきます。対しまして、教育芸術社は、楽器奏者のメッセージ動画、楽器ごとの姿勢、構え方、基本的な奏法や様々な奏法の見本、弾き方見本。それから、各練習曲の伴奏。そして、アンサンブル曲についても、伴奏がデジタルコンテンツとして配置されております。あと、先ほどの音楽一般にもありました創作ツールも、一部掲載されております。こちら、見本の動画は先ほどテロップと申し上げましたが教育芸術社では音声で流れてくるようになっておりますので、ちらっと見ながら聴くという形ができるようになっていきます。

以上です。

(福本教育長)

他にありますか。正司委員。

(正司委員)

教科書の話からちょっと外れますが、各校に実際に扱われている楽器は、リコーダー以外に、ギターや箏が多いのでしょうか。何かそれ以外ありましたら、教えていただけますか。

(山越指導主事)

学校で扱われております楽器の種類ということでございますが、まず、学習指導要領に器楽の学習に用いる楽器をこれにきなさいというようなことの指定はございません。ただ一つだけ、和楽器は必ず3年間で1つ以上を行うことというようなことがあります。それ以外は「指導の必要に応じて、和楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、鍵盤楽器、電子楽器及び世界の諸民族の楽器を適宜用いること」というような記載がございます。リコーダー以外ということでございますので、弦楽器に関しましては、コロナの時期に管楽器ができなかったのも、ギター等眠っていた楽器を整備した学校もありますし、新たに購入して配備した学校もあるかと思えます。

それから、和楽器に関しましては、箏が平成24年までに神戸市では全校に配備ということで、完了しております。それから、三味線に関しましては、平成31年度までに拠点校6校にそれぞれ20棹ずつ配備しております。それを希望するときに申し込んで借りてきてというようなことになってございます。打楽器については、吹奏楽でも使用する関係上、学校には取りそろえられているわけなのですが、最近ではボディーパーカッション、自分の体で打楽器のように音を鳴らすといった学習も行われるようになってきているということもございます。

以上です。

(福本教育長)

それでは、ほかに御質問ございますか。今井委員、お願いします。

(今井委員)

先ほどのお話にもあった箏とか三味線って、多分初めて触るっていう生徒さんがほとんどだと思いますが、お子さんたちにとって取り組みやすい教科書の記載、デジタルコンテンツと合わせた工夫がどういうふうに行われているか、また、先生にとっても、初めての子に教えやすいように、どういった工夫が行われているかというのを、それぞれ教えていただいていいですか。

(山越指導主事)

まず、箏ですが、実は小学校でも学習ではなく体験といった形で取り組むといったことが近年、増えておまして、「さくらさくら」とかですと、割と「小学校で体験はしました」というようなお子さんが最近多いです。箏だけでなく三味線、和太鼓等もありますので、初めての楽器に取り組むときっていう観点で申し上げますと、両社とも見本の動画や写真、そういったものがあります。初めて取り組む場合には、このような資料等が準備されておりまして、特に、やっぱりいいなというのは動画、見本の動画っていうのが有効なのかなと思っております。授業の中で教員も一通り説明はしますが、生徒によっては繰り返し、もう一回見たいとか、どういうことかよく分からなかったからっていうような場合もあると思うのですが、それを個別最適な形で見たいときに、見たい回数を見られるということに関しましては、両社とも、配備されているというふうを考えております。教員からという立場で言いますと、申し上げましたように、説明がうまくできないとか、自分でうまく演奏できなくて、見本を見せられないというような場合にも、デジタルコンテンツを使うことで、見せることができるのではと考えております。器楽の教科書は3年間で1冊の教科書となっておりますので、初めて1年生のときに、あるいは、2年生のときに初めてその楽器に取り組み、数か月後、あるいは、次の年に、その楽器で深めてみようということも考えられると思います。その際に、やはり豊富な情報量があるということは器楽の教科書の中では大切なポイントになるのではないかと考えているところでございます。

以上です。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

では、投票に入りますので、事務局、お願いします。音楽器楽合奏、株式会社教育芸術

社6票、よって過半数を超えておりますので、株式会社教育芸術社の教科書を採択いたします。

教科書を入れ替えますので、しばらくお待ちください。

それでは、続きまして、美術の審議に入りますので、事務局より説明をお願いします。

(西上指導主事)

美術科の報告をいたします。資料80ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、開隆堂出版、光村図書、日本文教出版の3社、7点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれに順に御説明いたします。

初めに、資料82ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。開隆堂、2・3年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋を御覧ください。「私が見つめた風景」の題材では、モネの異なる積みわらの作品を取り上げ、時刻による光の差し方の違いや色彩の工夫、それによる構図の姿勢の変化など、作品を比較することで造形的な視点を働かせ、知識及び技能の習得につながるような工夫がなされています。

次に、光村図書、1年生の資料編をお取りください。ピンクの付箋を御覧ください。「紙で作る」では、1枚の紙の加工方法を切ったり折ったりするなど、幅広く提示することで、紙を扱う全ての題材において、手元で資料を活用しながら学習を進めることができます。このように3年間を通して必要とされる知識及び技能を支える資料を、別冊としてまとめることで、2、3年生の学習においても、習得した知識や技能を確認し、自分で選択しながら、自己の表現活動に生かす工夫がなされています。

次に、日本文教出版の1年生の教科書をお取りください。上段の解説では鉛筆で描く技法が掲載されており、様々な題材で自分の思いをもとに表現することができるようなヒントにつながります。

次に、63ページ上段を御覧ください。学習に必要な用具の扱い方を、図版と説明文で分かりやすく説明しています。このように、知識や技能の学びを支える資料として整理して巻末にまとめられています。

次は、資料83ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。開隆堂出版、2・3年生の教科書をお取りください。水色の付箋を御覧ください。上段の説明文を御覧ください。漫画と美術の紹介文からは、荒木飛呂彦さんが中段のアポロンとダフネの彫刻を参考に、現代漫画のポーズを考えていることや、中段のイラストと下段の尾形光琳の作品を並べることで、構図を参考にしていることがイメージでき、学びのきっかけや、見方・感じ方を変える工夫がなされています。

次に、光村図書、1年生の教科書をお取りください。水色の付箋を御覧ください。風神雷神像の立体像が見下ろす角度で掲載されています。

続いて開いて37ページから41ページを御覧ください。「風神雷神図屏風」が掲載されて

おり、同じモチーフで立体と絵画の比較がしやすい構成となっており、絵画表現につながるような工夫がなされています。

次のページにお進みください。左下のオレンジの吹き出しでは、「上から見下ろすようなポーズだね。どうしてだろう。」の吹き出しが、作品の意図や工夫を考えるきっかけになり、見方や感じ方を深めることにつながる工夫がなされています。

次は、資料84ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。開隆堂出版、2・3年生の教科書をお取りください。緑の付箋を御覧ください。「一目で伝える表示」では64ページ、65ページで鑑賞し、表し方を考えるきっかけを伝えます。

次に、66ページを御覧ください。表し方のヒントを生活や社会をつなげた作品で紹介し、67ページでは作品例を紹介しています。このように4ページにわたり制作の過程が示されており、学習の見通しや作品が完成するイメージを持つことができ、探究の意欲を高める工夫がなされています。

次に、光村図書、2・3年生の教科書をお取りください。緑の付箋を御覧ください。「最後の晩餐」では教科書で示された内容から、自分のイメージを膨らませることができ、左下の二次元コードを読み取ると、さらに学びを深める「体感ミュージアム」で学習をすることができます。

それでは、モニターの画面を御覧ください。こちらが二次元コードからリンクされている「体感ミュージアム」の書き込みツールとなっています。書き込みツールでは、何度も直接作品に書き込みができるようになっており、直線を引いて、このように透視図として見ることで奥行きを感じたり、交差する線がキリストに焦点が当たっていることなど、制作の意図を考えたりすることにつながります。また、作品が感じたことを吹き出しのセリフをつけながら、あらかじめ鑑賞することもすることもできます。このように自分で感じたことを直接作品に文字で表すことも可能です。こういった形で鑑賞することで感性を育み、自らの創造性を培うような工夫がなされています。

次に、日本文教出版、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋を御覧ください。美の始まりであるラスコーの動物壁画を取り上げることで、造形的なよさ、作品の持つ意図や工夫を感じ、どのように制作するのか考えることで、人間の元来持っている美への思いから探究的な意欲を高める工夫がなされています。

最後に、資料85ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。開隆堂出版、2・3年生の教科書をお取りください。黄色の付箋を御覧ください。ゴッホのひまわりの表紙では、凹凸で絵の具を塗り重ねた筆跡を表しており、美しい表紙に仕上がっていると同時に、触りたくなるような加工を施してあることで、実際に触れて作品の質感を想像することができるような配慮がなされています。

次に、光村図書、1年、資料編をお取りください。黄色の付箋を御覧ください。絵がつくる写真、映像、発想、構想、形、色、光など、3年間通して使える内容が別冊として、まとめられてあります。また、折り返ししやすい中綴じであるため、制作中もスペースを取

らず、活動と資料を関連づけながら、学習を進めることができます。

全ての観点の評価結果は、81ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、美術の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、美術について、御質問があれば、お願いします。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

各社、安全面というか、いろいろ危ない道具を使ったりもしますので、そのあたりについて、どういう配慮がなされているのか教えていただければ。

(西上指導主事)

美術科においては、安全面は、とてもやはり重要な要素の1つだと思っています。特に彫刻刀や刃物を扱う場面もあるかと思います。この点に関しましては、3社とも授業の使用において、現行の教科書同様の配慮が教科書の中で維持されているというふうに感じました。特に各社、二次元コードで技法の解説等を丁寧にして、動画の扱いのページにおいては、注意喚起を促すようなビッグマークのピクトグラムとともに各社とも説明をされています。

(福本教育長)

ほかに美術に御質問はありますか。

吉井委員、お願いします。

(吉井委員)

光村図書だけが資料が別冊になっていまして、技能を支える資料ということで別冊になっています。これは教える側の先生から見たときに、こういう別冊があるのとないのとで、どういうふうに利便性が違いますか。教えていただければと思います。

(西上指導主事)

現行の教科書においては、各社とも別冊になっておりませんので、これからのお話にはなるかと思いますが、この別冊になっているのが、1年生の教科書に附属してあるものになります。これは、なぜかと申しますと、1年生で全ての領域、美術科が目指す全ての領域に関して指導します。2、3生に関しては、その発展的なものを2年間かけて指導するという事ですので、まずは、この1年生の内容が大切であるので、知識、技能に関しては、別冊としてまとめられているという事です。恐らくこれを2、3年生になって指導す

るときに、別冊として持つておくことで、自分が調べたいなと感じた時や、1年生のとき、こういうことを習ったので、これをもっと僕は活用したいというふうに思ったときに、これを自分で選択しながら学習を進めることが考えられます。

(吉井委員)

どうもありがとうございました。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

今井委員、お願いします。

(今井委員)

本当にどれも見ていると素敵で、うっとりしてしまいますが、各社本当にそれぞれいい特徴があると思いますが、端的に各社の特徴を御説明いただくとしたら、どうなるのか。生徒にとって、中学生がこの教科書を見て、本当に美術に興味とか関心を高めてくれるような、より工夫がなされているのは、それぞれどういう点なのかっていうのを合わせて教えていただければと思います。

(西上指導主事)

各社の違いを端的にお伝えさせていただきたいと思います。まず、開隆堂に関しては、見ていただいたとおり、図版が非常に美しく、印刷のこだわりを感じております。恐らく特殊なコート紙を使われているのかなと思っています。鑑賞対象の魅力をできる限りの技術で提供していると感じています。また、取り上げている作品群の時代、文化、世代が、ほどよく効果的な作品の選出になっていると感じております。

光村図書に関しては、鑑賞と表現のつながりが一貫しており、生徒が鑑賞活動で見たことや感覚などから自分で主題を生み出し、さらに現活動に取り組みやすいように、内容の構成に工夫を感じると感じました。また、生徒作品と作者の声を大切にしており、実生活の中の美術を感じられるような工夫がなされているなど思っております。また、先ほども申し上げたように、別冊の資料が様々な題材で活用できる知識、技能に関する内容が掲載されているので、学年が上がって、教科書が変わっても、手元に置きながら学習を進めていけるのかなというふうに感じております。日本文教に関しましては、一番文章の情報量が多く、単元や題材で何を学ぶのかという指導者立場からの説明がしやすいように感じました。また、二次元コードとリンクされている導入動画は、本文と合わせて、とても見やすいと感じました。まず、これが各社の特徴でございます。

もう一つに関しましては、やはり生徒の興味関心をひくような内容に関しては、各社、工夫がされています。例えば先ほども申し上げましたように、開隆堂に関しましては、現

代漫画を取り上げる等、光村図書に関しましても、先ほどの風神雷神像、これは現行では正面を向っていますが、より現場の臨場感を出すために、この斜め上から見下ろしたような構図になっております。こういった工夫がされているのかなというふうに思っております。

(福本教育長)

ほかに何か御質問ありますか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

少し関係薄いかもかもしれませんが、特別支援教育等への配慮等がどういうふうになっているか教えていただきたいと思います。

(西上指導主事)

まず、特別支援教育に関しましては、全ての教科書で内容が正しく伝わるように、カラーユニバーサルデザインについては配慮がなされています。また、開隆堂に関しましては、教科書全般で振り仮名が多く振られており、読みやすい配慮がなされています。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに質問はございますか。

では、投票に移りたいと思いますので、事務局、お願いします。

美術に関してですが、光村図書株式会社6票、よって過半数を超えておりますので、光村図書株式会社の教科書を採択いたします。

ただいまより10分の休憩に入りたいと思います。14時45分から再開させていただきます。

(休憩)

それでは、引き続き次へ移りたいと思います。保健体育の審議に入ります。では、事務局から説明をお願いします。

(長手指導主事)

失礼いたします。保健体育の報告をいたします。資料86ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研の4社、4点です。それでは、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。初めに、資料88ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたし

ます。

まず、東京書籍の教科書をお取りください。ピンクの付箋ア①をお開きください。右ページ以降に「巻末スキルブック」として、命や健康を守るために必要となるスキルが豊富なイラストや写真とともに分かりやすくまとめられています。さらに内容を動画で確認できるデジタルコンテンツが用意されており、知識や技能の習得にあたり、社会生活に生かす視点から、より効果的な工夫がなされています。

続いて、ピンクの付箋ア②をお開きいただき、右下を御覧ください。独自のデジタルコンテンツが全体を通して多数あり、動画やワークシートだけでなく、右下の「活用する」のように教科書に書かれている図をCGで再現したシミュレーションで疑似体験できるなど、知識や技能を身につけるための実践的な工夫がなされています。

次に、大修館書店の教科書をお取りください。ピンクの付箋ア①をお開きいただき、右下を御覧ください。二次元コードを読み込むと「保体クイズにトライ！」にアクセスすることができます。

それでは、モニターで実際のデジタルコンテンツを御覧ください。4問ほどクイズが設定されており、3つの選択肢で解答していくような形になります。学習した内容を、このように確認していく形式になっており、間違えた場合には、また教科書を確認できるような設定になっております。このように1時間の学習の最後に4問ほどの保体クイズが、どのページにも設定されており、学習内容の確認や家庭での自主的な振り返りにつなげることができます。また、クイズ形式で、生徒が主体的に楽しみながら学習内容の理解度を確認できる効果的な工夫がなされています。

続いて、ピンクの付箋ア②をお開きください。「特集資料」として、「性についての固定的な考え方に気づこう」のページがあり、性に関する内容や多様な性の在り方について、具体的な内容や豊富な資料が掲載され、生徒がより理解が深められる内容になっています。

次に、学研の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開きいただき、左のページ中段を御覧ください。小見出しの横に赤枠の吹き出しで学習課題が提示されており、生徒が学習内容を理解しやすく、知識や技能の定着が図れる工夫がなされています。

次に、資料90ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。まず、東京書籍の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きいただき、右下を御覧ください。1時間の学習の最後にある「活用する」では、図やイラストなどから考える問いが設定されています。生徒自身が日常生活を想起しやすいテーマとなっており、学習課題につながる思考を、より一層促す工夫がなされています。また、グループ活動等でディスカッションしやすい工夫もなされています。

次に、大修館書店の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きいただき、右下を御覧ください。「学習のまとめ」では、二次元コードで開いたワークシートに直接書き込むことができ、学習用パソコンに保存することも可能で、活用しやすい仕様になっています。また、ワークシートを活用して自分の考えをまとめ、グループワークで他者に意見を伝え

やすく、協働的な学びにつなげることができます。

次に、学研の教科書をお取りください。水色の付箋をお開きいただき、左のページを御覧ください。各学年の終わりに、1年間を通して学習したことや、習得したこと、今後の自分にどう生かしていくかを考えるページが設定されており、生徒が学習課題を自ら導き出したり、健康に関する課題に気づいたりしやすい工夫がなされています。

次に、資料91ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。

まず、東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きいただき、左下を御覧ください。「学習のまとめ」では、その単元で学んだことを「日常生活」や「SDGs」に絡めて考えさせることで多様な課題を解決し、豊かで幸せな社会を創る意義について、生徒一人一人が考察できるような工夫がなされています。

次に、大修館書店の教科書をお取りください。緑の付箋をお開きください。「章のまとめ」では3つの観点で、生徒自身が学習を振り返り、その活動を通して実生活や、さらに探究したい学習につなげることができる構成になっています。また、分類されたデジタルコンテンツを活用することで、興味関心のある内容をより探究することができ、生徒が自主的に学習することができるよう工夫がなされています。

最後に、資料92ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。

まず、東京書籍の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。このページに限らず、全体的に図の明度や彩度が低く、色彩が柔らかいため、生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるような工夫がなされています。

次に、大修館書店の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開きください。本文は中央に、資料がその周辺に配置され、枠で囲われているため、誰にとっても見やすい配置になっています。学習の理解が深まるように、文章が端的にまとめられており、生徒が理解しやすく、また、本文中の小見出しが内容の要約としての役割を果たし、生徒が学習内容をより理解するための効果的な工夫がなされています。

全ての観点の評価は、87ページの一覧にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、保健体育の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、保健体育について御質問があれば、お願いします。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

少しデジタルコンテンツを御紹介いただきましたが、それ以外で何か各社の特徴とかあれば教えていただきたいと思います。

(長手指導主事)

それでは、各社デジタルコンテンツについて、紹介させていただきます。各社とも動画や補足の資料が基本的には用意されています。動画に関しましても、種類としては各社とも大きな差はありませんが、動画の本数としては、東京書籍が一番充実しております。また、まとめや振り返りのワークシートも各社、用意されていますが、先ほど説明させていただいたとおり、現時点で確認できているのは大修館書籍のみ、直接書き込みができる様式になっております。それぞれ東京書籍は、シミュレーションの教材、また、思考ツールのような教材も準備されております。さらに関連する他教科の教科書をデジタルコンテンツで確認できるということも特徴となっております。

大修館書店は、動画、また、保健体育の情報を調べる情報館、ワークシート、保体クイズという形で、それぞれアクセスするリンクを分類しておりますので、生徒が調べたときに、活用しやすい仕様になっています。

学研につきましては、動画とともにエネルギーや不快指数などのシミュレーションで計算するような、教材も用意されているというような特徴があります。

以上です。

(福本教育長)

ほかに質問ありますでしょうか。

今井委員、お願いします。

(今井委員)

観点ウの評価の違いについて、先ほども御説明いただきましたが、もう少し詳しく御説明をお願いできればと思います。

(長手指導主事)

観点ウのところを御説明させていただきます。まず、保健分野では、取り上げられる現代的な健康課題は、すぐに解決することは難しく、生徒自身が課題解決に向けて考え続けていくことが非常に大切です。單元ごとのまとめが各社とも設定されている中で、どの会社も優れてはいますが、大修館書店は、3つの観点で自身の学習を振り返り、その活動を通して実生活や、さらに探究や学習につなげることができる構成になっています。また、分類されたデジタルコンテンツを活用することで、興味関心を持った内容をさらに探究することができます。東京書籍は、それが全てデジタルコンテンツでの対応となっています。神戸の生徒や教員の現状を考えますと、大修館書店のように、教科書での振り返りから自分自身のことや探究したいことにつなげ、必要に応じてデジタルコンテンツを活用できる、教科書とデジタルコンテンツの両方が活用できる形が望ましいと考えています。

以上です。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

今少し言及していただいた現代的な健康課題というのは、各社どんなものが上げられて、どのように取り扱われているか、少し教えていただいてもよろしいですか。

(長手指導主事)

現代的な健康課題というのは、各社とも基本的な大差はありません。性の多様性をはじめ、感染症、熱中症。あと、心の健康、性に関する問題。また、性、薬物等に関する情報の入手等が取り扱われています。それに加えて、ネットリテラシーのこと、もしくは、がんの問題、全般的な多様性や、SDGs、その辺りを各社とも様々な分野に絡めて取り扱っているという形になります。基本的には学習に関連して、単元の終わりに、それぞれ取り扱うような形で資料が準備されていますが、教科書内で取り上げている会社もあれば、デジタルコンテンツを用意しているという会社もあり、その辺りの特徴の差は少しだけあると考えております。

以上です。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかによろしいでしょうか。

では、投票に入りますので、事務局、お願いします。

保健体育ですが、株式会社大修館書店 6 票、よって過半数を超えておりますので、株式会社大修館書店の教科書を採択いたします。

教科書を入れ替えますので、しばらくお待ちください。

それでは、引き続き、技術・家庭の技術分野の審議に入ります。事務局からお願いします。

(藤田指導主事)

技術・家庭、技術分野の報告をいたします。資料93ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社、4点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。初めに資料95ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。

教育図書の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページを御覧ください。作業工程において、①から㉔などの番号が順につけられています。工程ごとに写真と説明があるため、流れを理解しやすく、作業内容に応じて、いつでも生徒が確認できるよう工夫がなされています。一つ一つ丁寧に、そして、迷うことなく作業が進められるように配慮されているところが、優れている特徴です。

次に、開隆堂の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページを御覧ください。技術分野の材料と加工では、製図でつまずく生徒が多く、教師も指導の難しさを感じていることから、製図の手順に示した丁寧な動画が用意されていることは大きな特徴です。文章量も適量で、生徒が教科書を読み進めやすく、つまずきやすい箇所は二次元コードで補完するなど、神戸の子供たちが個別最適な学習を意識し、その1冊で学びが完結するように配慮されており、知識及び技能が習得しやすい工夫がなされています。

では、前のモニターを御覧ください。こちらは等角図の書き方です。このように細かな作業も含めて丁寧に説明されているので、生徒が何度も見返しながら図面を書き上げることができるようになっています。

では、お手元の資料にお戻りください。次は、資料96ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。

教育図書の教科書をお取りください。水色の付箋のページを御覧ください。問題解決の流れが漫画で分かりやすく示されており、生徒が自分事として考えやすいように、身近な内容が設定されています。

次に、開隆堂の教科書をお取りください。水色の付箋のページを御覧ください。技術の見方・考え方で既存の製品を読み解こうでは、考え方の例と自分の考えを左右で見比べながら筋道を立てて学習に取り組むことができるよう、見開きページに左右に並べて配置するという工夫がなされています。何に着目しなければならないのかを左ページに丁寧に示されているため、生徒が迷うことなく思考することができるところが大きな特徴です。

次は、資料97ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。

東京書籍の教科書をお取りください。緑の付箋のページを御覧ください。二次元コードからは、回路シミュレーターにアクセスすることができます。回路の学習で使う部品が、とても見やすく表示されており、様々な回路を設計することができます。

次に、開隆堂の教科書をお取りください。緑の付箋のページを御覧ください。「技術の見方・考え方」では、考え方の流れが丁寧に示されており、特に下図の「調べてみよう」では、ボールペンの知識を生かして、はさみについて考える構成になっています。また、

技術分野で大切な着目点である社会からの要求、安全性、環境負荷、経済性について、ボールペンやはさみのように、日頃から使っているものを取り上げ、生徒が自然と考えたくなるような、また、その考えを相手に伝え、実生活に生かしていきたくなるような工夫がなされているところが優れた特徴です。

最後に、資料98ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から、御説明いたします。

教育図書の別冊「スキルアシスト」をお取りください。黄色の付箋、目次から順に読み進めてください。実習時に必要な情報が、別冊「スキルアシスト」としてまとめられており、図版や写真が多く掲載されていることや、実習時の全身が分かる写真が掲載されていることから、誰が見ても見やすく、実習時のイメージがつかみやすい工夫がなされています。

次に、開隆堂の教科書をお取りください。黄色の付箋のページを御覧ください。機能ごとに分かりやすく色分けされており、図版も数多く掲載されているため、センサ、コンピュータ、アクチュエータの違いについて、種類とその性質が区別できずに悩む生徒や、文字だけでは情報が入りづらい生徒にも理解しやすい配慮がなされています。

全ての観点の評価結果は、94ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、技術・家庭、技術分野の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、技術分野についてですが、御質問がございましたら、お願いします。

正司委員、お願いいたします。

(正司委員)

データサイエンスのことがよく言われていますが、プログラミング学習について、一体どのような扱いというか、どのような指導がありますか。

(藤田指導主事)

東京書籍では、教科書の220ページから順を追って解説して、チャットシステムのプログラムを図や絵を用いて説明しています。266ページからは、総合的な問題解決として、植物工場、火星探査ロボットを上げています。

教育図書では、194ページから始まっています。簡単なゲームの例から天気予報、道路案内、道案内プログラムを例に解説して、別冊の30ページからも、具体的な例を挙げます。教科書にお戻りいただいて、巻末246ページからは夢をかなえる技術、学んだ技術を組み合わせるとして、統合的な問題を扱っております。

最後に、開隆堂、248ページになります。開隆堂はネットワークやプログラムについて詳しく述べた後に、双方向について述べる中で、チャットアプリなど様々な実習例を挙げ

ています。次、286ページから4つの内容を振り返って、装着型のサイボーグや、農業分野への応用、あと、デジタル白杖や植物工場などを実習例として挙げております。

3社とも指導要領の中にあります双方向のことであったり、3年生で取り扱う統合的な問題であったり、その辺りを踏まえたプログラミング教材を用意されております。

以上になります。

(正司委員)

プログラミングに関連する話ですが、情報モラルやフェイクニュース等、そのあたりのネットワークの使用に関わるリスクの話、知財の話等、その辺りは各社ちゃんと扱っているという理解でいいでしょうか。

(藤田指導主事)

はい。こちら各社扱ってございまして、情報モラルについては、東京書籍の場合は、生徒同士の協働的などところに関する資料、デジタルコンテンツ等も用意されておりますので、生徒同士で情報モラルに関して話し合うという内容が取り扱われております。

教育図書と開隆堂も同じように、情報モラルやセキュリティが指導内容としてありますので、しっかりと取り上げており、問題ないと思います。

(福本教育長)

ほかに技術分野で御質問よろしいでしょうか。

吉井委員、お願いします。

(吉井委員)

安全に作業を行ってもらう必要がありますが、安全確保について、各社の教科書上の工夫みたいなものは、どういうふうになっているか御説明いただければと思いますが。

(藤田指導主事)

まず、全ての教科書の最初のほうに全て取り扱われておりますが、東京書籍の場合は、この実習室の中で、どこが危険になるかというのを生徒同士がお互いに活動の中で見つけて、安全管理等を学ぶようになっております。

教育図書と開隆堂については、危険な場所のことは、しっかりと説明されております。生徒同士の学び合いというよりは、ここは危険です、ここはこういうふうになります、実習室はこうしていきましょうということが書かれております。それに加えて、開隆堂の場合は、コンピュータの使い方ですね。この辺りを1ページしっかり使って説明されているところが特徴です。

(吉井委員)

ありがとうございます。開隆堂の安全確保の記載もいいですね。

(藤田指導主事)

結構、情報がシンプルというか、しっかりまとめて、色も分けられているので、どこを確認すればいいのかが分かりやすいというのが開隆堂の特徴になっていると思います。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

今井委員、お願いします。

(今井委員)

端的に各社の特徴みたいところを教えてくださいいいですか。

(藤田指導主事)

基本的には技術分野に1校1名の配置でありますので、経験の浅い先生もいます。神戸市の先生について、また神戸市の生徒にとって、どの教科書が扱いやすいかを含めてお話しさせていただきます。生徒自身に読み進められる掲載量と、あと見やすさのバランスもありますので、3社教科書を開けて見ていただきたいと思います。東京書籍143ページ、教育図書121ページ、開隆堂164ページになります。こちら三社とも発電の方法についての内容となります。掲載量が最も多いのは東京書籍です。金額のことまで言及されております。逆に、最も少ないのは、教育図書になっています。分量であったりとか、生徒が読みやすさであったりとか、先生の指導のことも含めて、バランスよく掲載されているなどというのは開隆堂になってくるかなと思います。教科書の方向性としては、このような情報量の多さや、シンプルにまとまっているか、その各社のバランスは、このような形となります。

次に、デジタルコンテンツになります。このデジタルコンテンツは量が多いか少ないか、そこが扱いやすさの指標になるかと思います。3社全て教科書デジタルコンテンツを扱っております。前回の採択のときと比べると、豊富に用意されておりました。経験の浅い先生にとっても副教材として資料集やワークブックを、別に購入する必要があるかどうかというので悩む先生も多いですので、この量というのは大切な指標になるかと思います。教育図書は120コンテンツとコンパクトにまとめられております。逆に、東京書籍と開隆堂の2社は、400以上と豊富にコンテンツが用意されております。先ほどお話ししたような文章量や、その掲載量のバランスのよさ、デジタルコンテンツの資料が豊富であるかどうか、その辺りを踏まえて選択していく必要があるかと思います。

以上です。

(福本教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

それでは、投票に入りますので、事務局よろしくをお願いします。

技術・家庭、技術分野ですが、開隆堂出版株式会社6票、よって過半数を超えておりますので、開隆堂出版株式会社の教科書を採択といたします。

教科書を入れ替えますので、しばらくお待ちください。

それでは、引き続いて技術・家庭分野の家庭分野の審議に入りますので、事務局からお願いします。

(三原指導主事)

技術・家庭の家庭分野の報告をいたします。資料99ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社、3点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に説明いたします。初めに資料101ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、説明いたします。

東京書籍、ピンクの付箋をお開きください。左のページを御覧ください。デジタルコンテンツが充実しており、動画やワークシートが多くあるため、生徒自身が興味関心や必要に応じて使用することができる内容となっています。特に献立作成では、料理を選択すると、食品群別に分類して計算され、料理の食材の量を自分用に調整することができたり、自分が作った料理を写真に撮って、献立に入れることができたりするなど、実生活において生徒に試してみようと思わせる、より効果的な体験活動ができる工夫がなされています。

前のモニターを御覧ください。これがデジタルコンテンツになっております。例えば朝食の場合、このように料理がたくさんある中から1つ、もしくは、2つ、3つ選び、追加ボタンを押すと、このように食品群別、これは栄養素ごとになっていますが、何の栄養素をたくさん取っているかということが、朝昼晩と棒グラフによって分かるようになっていきます。また、オリジナル料理として、自分が考えてみた料理とか、自分が作ってみた料理を写真に収めて、自分が作った料理を献立の中に入れることができ、材料の数値も変えることができるコンテンツになっています。

教科書に戻ります。教育図書、ピンクの付箋をお開きください。左ページ一番下を御覧ください。調理実習の手順のページでは、食物アレルギーへの対応として、卵、乳、小麦等に代わる食品を示していることから、衛生安全における理解を深めた上で、調理実習や家庭生活での調理に取り組むことができるようになっていきます。

次に、資料102ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、説明いたします。

東京書籍、水色の付箋をお開きください。右ページ、左上を御覧ください。家庭科の4つの見方・考え方が書かれたキャラクターの吹き出しから見方・考え方の視点を働かせて

考えることができ、思考力、判断力を育成する工夫がなされています。

具体的なところを申し上げますと、204ページをお開きください。消費分野の学習で、204ページの真ん中より少し上にオレンジ色のキャラクター、「ミカッタ」のところに見方・考え方のヒントとして、吹き出しから、こんな視点を持ったらよいという内容が書かれています。

次に、教育図書、水色の付箋①をお開きください。各章の最終ページにある学びを生かそうでは、生活の中で問題を見だし、解決方法を考え、実践するようになっており、学んだことを生かして取り組むことができます。

続いて、同じ教育図書の水色の付箋②をお開きください。毎時間の学習では、最初に、左ページ上にあります、「めあて」があり、最後に、右ページ下にあります、「振り返る」という流れの構成になっており、めあてに対応した振り返りをして、自己評価ができることから、生徒が自分の学習状況を把握しやすく、次の学習につなげる工夫がなされています。

続いて、開隆堂、水色の付箋をお開きください。左側ページの下、「話し合ってみよう」では、提示された資料を読み取り、その理由を考えたり、意見を他者と共有したりすることで視野を広げることができる仕掛けがなされています。こうしたコーナーが、学習のまとまりごとに設定されています。

次は、資料103ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、ご説明いたします。東京書籍、緑の付箋①をお開きください。小学校の学びを振り返り、中学校で学ぶ内容を確認するガイダンスから家族、家庭の機能についての学習へスムーズにつながる構成になっています。これから家庭科をどのような視点で学ぶのかが分かりやすく、見通しを持って学習を主体的に進めていくことができるよう、適切な工夫がなされています。

続いて、同じ東京書籍、緑の付箋②をお開きください。家庭科では3年間で1回、もしくは、2回、主に長期休業期間を使って学んだことを生かして課題を設定し、その解決に向けて計画を立てて実践し、生活を改善するという生活の課題と実践という内容があります。東京書籍は、実践例が多く示されていたり、チェック項目が設けられていたり、思考の流れが丁寧に示されています。また、具体的な設定が難しい生徒には、デジタルコンテンツの課題発見チャートで学習の進め方を確認することができるため、有効となっております。

次に、教育図書、緑の付箋をお開きください。右側ページの右端を御覧ください。調理実習の学習では、「私のアレンジ」のコーナーを設け、実習で行う料理のアレンジされた例が示されており、学習したことを生かして、家庭でも実践してみようと思えるような意欲が引き出される工夫があります。

次に、開隆堂、緑の付箋をお開きください。各ページ下部にある「豆知識」は、本文に関わる内容で、実生活につながる知識が短く紹介されており、さらに日本の気候に合わせた衣替え、虫干しの写真のように、文中の内容を具体的に示すグラフや写真などが多く掲

載され、生徒が興味を持てる内容となっております。

最後に、資料104ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から説明いたします。

東京書籍、黄色の付箋をお開きください。全体的に写真、イラストが多く、比較的に分かりやすいです。特に縫い方を学習するページでは、写真が大きく示され、見やすいレイアウトになっています。また、デジタルコンテンツでは、右利き、左利き両方の動画があるため、全ての生徒にとって分かりやすい配慮がなされています。

次に、開隆堂、黄色の付箋をお開きください。真ん中辺りより下を御覧ください。色分けされた図や写真が多く、視覚的に分かりやすいです。さらに制作の基礎、基本のデジタルコンテンツでは、小学校での既習内容から確認ができるように工夫がなされています。また、右利き、左利きにも対応しており、全ての生徒にとって分かりやすい配慮がなされています。

全ての観点の評価結果は、100ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。

以上で、技術・家庭、家庭分野の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

では、御質問があれば、お願いします。

正司委員、お願いします。

(正司委員)

SDGsとの関係について、この分野では、どんなふうに扱われてますでしょうか。

(三原指導主事)

SDGsに関しましては、3社とも取扱いがございます。開隆堂の82ページをお開きください。開隆堂は、各章の終わりに「持続可能な生活」という章題材がありまして、SDGsとの関わりについてマークを示し、持続可能な社会の構築に向けて取り組むことができるようになっております。

また、東京書籍では、一番後ろの巻末の口絵4になりますけども、このような一覧に加えて、各ページの一番下に「せいかつメモ」という本文に関わる内容に合わせて記載されているページがございます。さらに加えて東京書籍は、デジタルコンテンツもございまして、前のモニターを御覧ください。このような形で、家庭科でしたら、SDGsの12番目の目標、「つくる責任、つかう責任」というところなどでは、衣生活のところを取り上げることができます。ワークシート等もコンテンツの中に含まれていますので、生徒にとっても分かりやすいですし、教師側にとっても使いやすいコンテンツになっているかなと考えております。

以上です。

(正司委員)

ありがとうございます。これに絡んで、このコンテンツは面白いなと思いながら見ておりましたが、それ以外に、各社のコンテンツで、まだ紹介されていない中で興味深いものを教えていただきたいです。

(三原指導主事)

その他のコンテンツということですが、まず、開隆堂は科学的に学習するという内容が教科書にもコンテンツにも含まれておりまして、例えば「目に見えない栄養素を見てみよう」ということで、実際、理科的な要素になります。栄養素を学習する際に、ビタミンAを見る実験ということで、ショート動画になって、ビタミンAが抽出されるような動画が掲載されております。

それから、教育図書は外部リンクに飛ぶことが多いですが、その中で国民生活センターや消費者庁等外部につながるものが多いです。国民生活センターのホームページでは、子供たちがこれを見て、実際にイメージすることができます。このように外部のものを使うことが特徴になっています。それから、東京書籍は、これは消費の学習を扱うときに、非常に有効だと考えますが、クレジットカードの三者間契約も学習指導要領で学習することになっておりまして、これはインターネットの通販シミュレーションになっています。実際にTシャツを選んだり、サイズを選んだり、実際のシミュレーションになっています。ただ、中学生はクレジットカードの使用はできませんが、疑似体験という形は、非常に生徒にとっては有効かなと考えております。

以上です。

(福本教育長)

他に御質問はありますか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

小学校でも家庭科はあるとは思いますが、それとの関係について教えてください。段階を追って、あるいは、発展させてというような、何かその辺り各社の特徴などを教えていただければと思います。

(三原指導主事)

小学校5年生から家庭科を学習するというので、2年間、小学校で学んできた内容を受けて、中学校では、さらに深めていく、発展させていくということですが、どの教科書にも小学校の内容を復習しようというところで記載されております。どの教科書も、例えば中学校では、まつり縫いとスナップボタンが必修事項になっていますが、それを学

習する前には、必ず本当に基礎的なところ、針穴に糸を通すとか持ち方とかなみ縫い等、そういったところから記載されているので、そこに各社の差はないかなと考えております。

(山下委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

他にありませんか。

本田委員、お願いします。

(本田委員)

この家庭科で習ったものを実生活、自分たちの生活に落とし込んでいくことがとても大事になっていくと思いますが、各社、工夫されていると思いますが、その辺りの視点では、各社の特徴はあるのでしょうか。

(三原指導主事)

家庭科では生活に基づいた教科になりますので、授業で習ったことを、実際に自分の生活の中で生かせることが目標になっています。その点では、やはり例えば自分でご飯を作ってみるときに、教科書を見てみるという点で申し上げますと、調理実習のレシピの例が多かったり、作り方の動画が多かったりすると、自分で実際に生活の中でやってみようというときに、非常に有効になると考えております。その点から申し上げますと、一番例を多く示されているのは、東京書籍の数が一番多いと調査委員会の結果でもなっております。また、動画、よく今レシピで、いろんなサイトの動画も世の中にあると思いますが、動画という点では、開隆堂がたくさん上げられているというところで、生活の中で、そういうのを参考にしてできる場所は特徴だと思っております。

(福本教育長)

ほかによろしいでしょうか。

では、投票に入りますので、事務局、お願いします。

技術・家庭、家庭分野、東京書籍株式会社6票、よって過半数を超えておりますので、東京書籍株式会社の教科書を採択いたします。

では、教科書を入れ替えますので、しばらくお待ちください。

では、英語の審議に入りますので、事務局よろしく申し上げます。

(平畑指導主事)

それでは、英語の報告をいたします。資料105ページを御覧ください。調査研究の対象

となる教科書は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館の6社、18点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。初めに、資料107ページ、観点ア「知識及び技能の習得のための工夫」について、御説明いたします。東京書籍、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋ア①をお開けください。左ページから始まる「Sounds and Letters」のコーナーでは、英語の音と文字の関係が系統立てて取り上げられており、1つの文字が持つ音だけではなく、複数の文字が組み合わされているときの音についても幅広く掲載されており、基本的な発音のルールを1年生の夏休みまでに一通り学ぶことができます。

続けて、ピンクの付箋ア②をお開けください。各学年の巻末資料にも、英語の音と文字のことについて詳細にまとめられており、これらの知識を積み上げることで、生徒が自力に読み書きができるようになる構成となっております。昨年度、神戸市立の中学校1年生対象に、約1,800人対象にした英語学習に関するアンケートを行ったところ、英語の単語を覚えることや、英語の単語や文を書くことに非常に苦手意識を感じているというふうに答えた生徒が多かったです。英語の音と文字の関係を理解することは、英語学習の土台とも言える部分であり、苦手意識の軽減にもつながると考えております。そこを丁寧に扱っているのが、東京書籍の特長です。

続いて、開隆堂1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開けください。左ページから始まる単元の最初のページである「Scenes」では、3学年通して導入部分に漫画が使用されており、必要最小限の条件で構成されているため、英語に苦手意識のある生徒にとっても興味関心が喚起されやすい工夫がなされています。

次に、教育出版、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋をお開けください。左ページにある「Tips for」のコーナーでは、英語を学ぶ上でのコツが4技能別にバランスよくまとめられており、学んだ知識をどのように活用すればいいか、自分で考える力を身につけることができるような構成となっております。ここではリーディングなので「読むこと」、ほかにも4技能全て各ページに掲載されています。

次は、資料109ページ、観点イ「思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫」について、御説明いたします。

東京書籍、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋をお開けください。巻末の資料である「Small Talk」では、各単元の言語材料を含んだ質問や表現例が豊富に掲載されており、ペア活動を円滑に進めることができる工夫がなされています。また、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツには、即興のやり取りを練習できる動画が掲載されており、毎回の授業で10分程度繰り返し行う学習活動や、家庭学習の中で自分の思いや考えを伝える練習がしやすい構成となっております。

それでは、前のモニターを御覧ください。先ほどのページの左上の質問の動画が、こちらです。今週末、どんなことをするかという質問で、子供たちが考えて答えたり、少し苦手な生徒にとっては、教科書の紙面には例が挙げられておりますので、そちらを言いなが

ら、自分の言葉に置き換えたりしながら、自己表現活動ができるような構成となっておりますし、右下のところには、スピードを変えることもできますので、これが遅いなど感じる生徒は速くしたり、聞き取りにくい生徒は遅くしたりといったこともできます。また、質問が変わると、動画に登場する人物も変わりますので、例えば将来の夢という質問に対しては、ALTの先生が登場しまして、実際にやり取りをするような模擬練習ができる構成となっております。

続いて、三省堂、1年生の教科書をお取りください。水色の付箋をお開けください。右のページの「Small Talk Plus」のコーナーでは、やり取りを続けるコツを学ぶことができますようになっていました。そして、「ラウンド1、2、3」と3つの構成がありますが、下の「ラウンド3」では、それを生かしながら、これまでの話題について、再度話し合えるように構成されており、即興で会話する力が身につくよう工夫がなされています。ここでは、「パート1」では先週末にしたことについて、「パート2」では、国内旅行するのなら、どこに行きたいのか、実際にやったことを、もう一度繰り返すというような構成となっております。

続いて、光村図書、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋をお開けください。とじ込み資料である「Let's Talk」では、3つのテーマ、「私ってこんな人」、「私の日常、したいこと」、「私の考え」ということに基づいて、各単元に関連した質問が豊富に掲載されており、ペア活動を通して話す力を身につけることができます。

次に、このページの二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツについて、紹介いたします。モニターを御覧ください。こちら、まず、やり取りの見本例がありますが、その下に質問がランダムに提示されるルーレット機能というものが搭載されておりまして、生徒が自分のタイミングでボタンを押し、ここでは5番「Are you good at playing video games?」、それに対して答えを言うといったところで、1人で練習するようなことが即興的にできるようになっております。こちら、音声は流れることはないの、文字を見てやり取りをする練習をするという形になっております。

次は、資料111ページ、観点ウ「探究する意欲を高める工夫」について、御説明いたします。

東京書籍、2年生の教科書をお取りください。緑の付箋をお開けください。学期末のまとめの活動である「Stage Activity」のコーナーでは、左上のページでカナダの生徒と国際交流の授業で、やり取りをする場面が複数回設定されております。同年代の生徒が話しているビデオレターの内容を通して異文化や多様性について身近に学びながら、相手意識を持って発信活動を行うことができるよう工夫がされています。本市の学力調査、全国・神戸市の学力調査の結果を分析したところ、神戸市では、目的や場面、状況に応じて、自分の思いや考えを書くという問題において、非常に課題があるというふうに分析しております。この目的や場面、状況を理解した上での発信活動を行うということは、授業の中で非常に重要な要素であるとなっておりますので、神戸の子供たちにとっては必要な力であ

ると考えております。その点で言いますと、東京書籍は教科書の紙面だけではなく、デジタルでも様々な情報を補完して、場面設定がより明確で、発信活動に取り組みやすい構成となっております。

次に、開隆堂、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋をお開けください。題材の1つとして通学路という身近な話題が取り上げられており、日本と海外での学校生活の違いという入り口から、背景にある海外の文化に興味を持ちやすい工夫がなされています。また、左ページの下には、学校生活の満足度についてのアンケート結果の調査の資料が取り上げられており、日本と海外の若者の意識の違いを知ることで、新たな気づきを基に活動に取り組むことができる構成となっております。

次に、啓林館、3年生の教科書をお取りください。緑の付箋ウ①をお開けください。左のページでは、だまし絵が題材となっており、絵についての説明を右側のページで、英語で読むことで、日本語とは違った視点で理解を深めることができるようになっていきます。

次に、その次のページ、ウ②をお開けください。こちらの右ページには、まとめ活動として、お気に入りの美術作品について紹介する課題が設定されており、美術の授業で学んだことを活用して、自分の思いや考えを英語で発信する力が身につくよう工夫がなされています。

最後に、資料114ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたします。

東京書籍、2年生の教科書をお取りください。黄色の付箋エ①をお開けください。左側の文法に関するページでは、英文を構成する主語、動詞、補語、目的語の4つの要素について、色だけではなく、形にも違いを持たせており、全ての生徒にとって理解しやすくなっています。

次に、東京書籍の1年生の教科書、黄色の付箋エ②をお開けください。先ほどの4つの要素についてのデザインですが、こちらが1年生の教科書に掲載されている語順カードと色や形が共通しているため、学年が変わっても、視覚的に語順を捉えやすい構成となっております。

次に、三省堂、1年生の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開けください。この9ページから24ページまでは、小学校で学んだ内容を「Starter」としていて、語句や表現を一覧にまとめた絵辞典、「My Dictionary」というのが掲載されておりまして、ほかのページに比べて10ミリ短い幅のため、振り返りたいときに、すぐ開くことができるよう配慮がなされています。

次に、光村図書、2年生の教科書をお取りください。黄色の付箋をお開けください。先ほども紹介しました、このとじ込み資料である「Let's Talk」ですけれども、ほかのページに比べて短い寸法の紙が使用されており、やり取りの練習をしている間に、左下のページでは、感想や印象を伝える表現があります。右下のページでは相槌など反応するための表現が、常に目に入るように工夫がなされています。

全ての関連の評価結果は、106ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。
以上で、英語の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

英語についてです。質問等がありましたら、お願いいたします。
正司委員、お願いします。

(正司委員)

長文をしっかりと読ませるとか読み取るということに関して、各社どのような工夫をされているのかを教えていただければと。

(平畑指導主事)

長文ですけれども、高校入試の今の傾向として、長文が1つの問題で約600語程度のも
のが出題される傾向が多くなっておりますので、各社とも学年が上がることに従って、単
語の数が増えたり、長文を読むときのコツっていうところは、それぞれの学年でポイント
を押さえる形で紹介はされていますので、大きな違いはないというふうに調査しており
ます。

(正司委員)

今度は書くことですね。英文を書くことに関して、各社どのような誘導や工夫があるの
でしょうか。

(平畑指導主事)

英語は4技能5領域と言いまして、その中で書くことや話すことの発信の技能に関して
は、各社とも扱っている割合というのが多少やはり違います。その中で、読むことと書く
ことの活動が1つの教科書で多く取り上げられているのが東京書籍と啓林館です。3学年
通して話すこと、書くことといった活動が多く取り上げられているのは東京書籍というふ
うに調査しております。自分の思いや考えをいろんな場面で書いたりするところの
活動は、各社とも取り上げてはいますが、その活動の割合が多いというふうに感じており
ます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。
本田委員、お願いします。

(本田委員)

各社ともにデジタルコンテンツが、すごく充実しているなと思いましたが、特徴はありますか。

(平畑指導主事)

そうですね。デジタルコンテンツ、各社ともいろいろなコンテンツがありますが、実際に授業や家庭学習で使いやすいと思っているものとしては、教科書の本文を読み上げる機能が充実しているかどうかというところで見えておまして、前のモニターを御覧いただければと思います。こちら、東京書籍の教科書から、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツですけれども、左側に、いろいろなボタンがありまして、まず、スピードを変えることってというのは、各社ともほかの会社もありますが、区切りを入れるスラッシュであったり、習った新しい単語を隠したり、いろんな単語を隠しながら読んだり、あとは、レイアウトも教科書の形にしたり、見やすくしたり、日本語を表示できたり、右側にまとめることができたり、英語の下に書いたりという機能であるとか、ロールプレイといまして、ここでジュンとアンナがしゃべっている場面ですけれども、ジュンを選択して、ジュンの分は自分で言うので自分で読み上げながら、アンナがしゃべるといった形で役割を変えながら学習できる機能の充実というのは、東京書籍であります。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますか。

山下委員、お願いします。

(山下委員)

先ほど長文の話もありましたが、今度は入り口の問題で、小学校の英語学習、外国語活動等の英語との関係とか、どうなっているのかという点。もう一つ、家庭学習を子供たちがするときに、何か使いやすい工夫を各社していただいているのかなという点について、分かる範囲で結構ですので、教えていただけたらと思います。

(平畑指導主事)

まずは、小学校の接続という意味では、1つは小学校での授業の流れを、ある程度、中学校の最初の1学期はあまり大きく変わらないように工夫されているのは各社ともです。アニメとか動画を見て、音声を聞いて、そこで使われた表現を実際に学んでいくといった流れは、各社とも中学校1年生の1学期で取り扱う内容は、そのように工夫がされていますし、また、小学校で学んだ単語がどれであるかというところが、教科書紙面では、これが小学校で学んだ単語だっというところはマークを付けたり、枠で囲ったりしながら提示しているというところは、各社とも同じような工夫がされております。また、家庭学習ですけれども、各社とも英語を学ぶという学び方について、各社とも教科書の紙面の中で

読むことに対しては、このようなコツで力をつけていったらいいとか、話すことは、このように力をつけたいというようなことは取り上げられていますので、そういったところを見ながら、復習したりすることができると思います。1つ、まとめて取り上げるというところでは、光村図書は巻末にまとめて「英語の学び方ガイド」というものを取り上げられておりました、例えば1年生の光村図書を見ていただきますと、145ページから153ページが「学び方ガイド」となっております、まとめてあります。ほかの会社では、合間に大事なポイントが入っていますので、掲載の仕方の違いではありますが、家庭学習で生かせるかどうかという点では、こうしてまとめているところも見やすいのではないかと考えています。

(福本教育長)

ほかに御質問はございますか。

それでは、投票に入りますので、事務局、お願いします。

英語、東京書籍株式会社6票、よって過半数を超えておりますので、東京書籍株式会社の教科書を採択いたします。

では、教科書を入れ替えますので、しばらくお待ちください。

では、道徳の審議に入りますので、事務局よろしくお願いします。

(橋野係長)

それでは、道徳の報告をいたします。資料116ページを御覧ください。調査研究の対象となる教科書は、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、学研、あかつき教育図書、日本教科書の7社、3学年分、日本文教出版の道徳ノート3学年分を含めた24点です。では、調査結果について、共通観点アからエ、それぞれ順に御説明いたします。道徳科は、ほかの教科にあるような知識及び技能の習得といった観点でなく、中央教育審議会専門会議において示された観点をあげております。それでは、資料118ページ、観点ア「道徳的価値の意義及びその大切さの理解につながる工夫」について、御説明いたします。ここでいう道徳的価値とは、人間がよりよく生きるために必要なこと、例えば親切、思いやり、信頼、友情、命の尊さなどを言います。

それでは、東京書籍、3年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページを御覧ください。「埴生の宿」は学校生活の一場面の中で、それぞれの多様性を認め合う姿が描かれており、お互いを思いやる気持ちの大切さについて考えることができる教材です。

81ページの右側の、題の右側を御覧ください。東京書籍の教科書では、全教材、題の冒頭に学習のテーマが記載されており、それぞれの教材で、どんな道徳的価値を学ぶのかが分かるようになっています。

次は、学研、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋のページを御覧ください。「妹が生まれて」は、命を全うすることの必要性和、親の愛情について考えることができ

る教材です。様々な出産のエピソードから、生きることを考えさせられます。学研の教科書では、「いのち」を最も重要なテーマとしており、命の尊さに関わる教材や差別や偏見のない社会について考えることができる教材が多数含まれています。第4期神戸市教育振興基本計画の中の重点施策である、「自他を尊重し、命を大切に育む心」を涵養することができる内容や構成になっています。神戸の中学生が自分自身の命を大切に育む心を持ち、そこからお互いの個性やそのよさを認め、大切にできるようになることが期待できます。

続きまして、あかつき図書、1年生の教科書をお取りください。ピンクの付箋①のページを御覧ください。「美しい母の顔」は子を大切に思う母の気持ちを通して、心が強く揺さぶられる教材です。また、目に見えるものだけで判断することなく、その背景についても思いを巡らせることが大切であることも学ぶことができます。

ピンクの付箋②のページを御覧ください。あかつき図書の教科書では、このような「Thinking」というコラム教材で、さらに深い学びを得ることができるよう工夫されています。

以上で、観点アの説明を終わります。

次は、資料120ページ、観点イ「物事を広い視野から多面的・多角的に考え、さらに自分で考えを深め、判断し、表現する力を育むための工夫」について御説明いたします。

初めに、教育出版、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋のページを御覧ください。「違反摘発」は、二者の立場から、家族や命について考え、法や決まりがある目的について多面的に考えることができる教材です。

101ページの左側を御覧ください。教育出版の教科書では、各教材の最後にある「学びの道しるべ」が、生徒にとって取り組みやすい発問構成になっており、ここに自分事として、多面的・多角的に考える問いも含まれています。

続きまして、光村図書、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋①のページを御覧ください。「テニス部の危機」では、対立する意見や複数の意見が取り上げられており、議論することを通して、人間の中にある多面性に気づくことができるよう工夫されています。

水色の付箋②のページを御覧ください。光村図書の教科書では、このように問題解決的な学習を扱う教材の後には、学習の流れがスリーステップで明示されているページがあり、話合いの手順が分かりやすくなっています。

続きまして、学研、2年生の教科書をお取りください。水色の付箋①のページを御覧ください。学研の教科書では、この「道徳科で学ぶこと 考えること」で、様々な考え方や思考ツールの使い方などが紹介されています。また、この左側のページでは、考えを深める4つのステップが具体的に端的に書かれており、周りの人と関わりながら、多角的・多面的に学びを深めるための手順が分かりやすく示されています。

次の10ページを御覧ください。こちらは教材の前に、あえて主題名を書かないことによ

って、多様な考え方ができるようにしており、その代わりにキーフレーズをタイトル下に配置することで、教材の内容への関心をかき立てる工夫がなされています。

水色の付箋②のページを御覧ください。23ページには、その前にある教材の内容を踏まえて、討論の方法が記載されており、話し合いを通して多面的に考えられるよう工夫されています。また、この「深めよう」では、考える道筋を得られるだけでなく、クローズアップというコラムが教材ごとについているため、深い道徳的価値の理解につなげることができるだけでなく、より一層広い視野を持って物事を見ることができるようになります。

続きまして、日本教科書、3年生の教科書をお取りください。水色の付箋のページを御覧ください。こちらにはウェルビーイングカードというカードがついています。教材の内容を踏まえて、自分が大切にしたいことをそのカードから選び、自分の考えに気づくことができます。また、選んだカードをお互いに見せ合い、カードを選んだ理由を伝え合うことによって、自他の視点の違いに気づくことができるような工夫がされています。

以上で、観点イの説明を終わります。

次は、資料122ページ、観点ウ「自己を見つめ、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫」について、御説明いたします。

東京書籍、2年生の教科書をお取りください。緑の付箋のページを御覧ください。「日々を支える、散歩と朝御飯 阿部詩」は、朝御飯や生活習慣などの大切さを取り上げている数少ない教材です。神戸市出身のアスリートが題材になっており、生徒が身近な教材として親しみやすく、自分の生き方について考えるきっかけになりやすいと思います。

続いて、日本文教出版、1年生の教科書をお取りください。緑の付箋のページを御覧ください。「ゆうへー生きていてくれてありがとうー」は、阪神・淡路大震災を通して生きることの必要性について、深く考えられる教材です。そのほかにも悩みや葛藤などの心の揺れや、それを乗り越える強さが扱われている教材があります。

続きまして、学研、3年生の教科書をお取りください。緑の付箋のページを御覧ください。「境界線を越える」は、トランスジェンダーとしての経験によって多様な見方・考え方から、建築家としてのキャリアにつなげていく生き方が描かれている教材です。学研の教科書では、性の多様性については、生徒の発達に応じて各学年に教材が配置されています。そのほかにも障がいのある人、外国にルーツのある人、高齢者等、様々な多様性について考えることができるような教材を採用しています。

続きまして、あかつき図書、2年生の教科書をお取りください。緑の付箋①のページを御覧ください。「第二の水泳人生 池江璃花子」は将来の目標、生き方について考えることの大切さが分かる教材です。緑の付箋②のページを御覧ください。ここからは、「キャリア」に関する教材を配置しており、各学年で自分の生き方について、考えを深められるように構成されています。

以上で、観点ウの説明を終わります。

最後に、資料124ページ、観点エ「ユニバーサルデザインの観点」から御説明いたしま

す。教科書及びデジタル教科書を組み合わせると、全ての教科書会社で「朗読、読み上げ機能」や、「振り仮名」、「動画資料」、「UDフォントの採用」など、ユニバーサルデザインの観点から適切な配慮がなされており、どれも読みやすく扱いやすいものになっています。

光村図書、3年生の教科書をお取りください。黄色の付箋のページを御覧ください。こちらには「まなびの道具箱」があり、「ピラミッドチャート」「ベン図」などの思考ツールの使い方が丁寧に言葉で説明されています。また、それぞれの考えを付箋で色分けして貼りつけていく作業の仕方が、図を見て一目で分かるように記載されています。

続きまして、黄色の付箋Aのついた学研、2年生の教科書をお取りください。教科書の大きさはAB判を採用しており、図や写真が大きく分かりやすく表現されています。

黄色の付箋①のページと付箋②のページを御覧ください。付箋①の「ブラックジャック」、付箋②の「青のオーケストラ」の教材が、中学生に親しみやすい漫画で、かつ鮮明に描かれており、文章を読むことが苦手な生徒にとって、印象深く、読みやすくなっています。さらにページの数字を見ていただくと電球のデザインで、どれだけ読み進められているかが分かるようになっていきます。これも教材の分量について、見通しが立てられるように配慮されている点と言えます。

全ての観点の評価結果は、117ページの一覧表にまとめてありますので、御覧ください。以上で、道徳の調査研究説明を終わります。

(福本教育長)

それでは、道徳に関して御質問等あれば、よろしく申し上げます。
正司委員、お願いします。

(正司委員)

情報モラルやネットリスク等について、各社どのような取扱いがされていますか。

(橋野係長)

情報モラルについてはですが、スマートフォンが普及しているということに伴いまして、ゲームであるとかSNS、それから、スマートフォンを通じたコミュニケーションツール、そういったものの使用法を教材にしているというものが非常に多いです。特に、このスマートフォンに関するトラブルに関わる場面というのを各社取り扱っています。

以上です。

(福本教育長)

正司委員。

(正司委員)

一言で言うと、いじめですけれど、様々なタイプのいじめがある中で、様々な扱い方があると思う。それに関して、各社、何か特徴がありますか。特に神戸の子供たちに向けてという視点を加味すると、どういうふうに考えればいいのか、何かありましたら教えてください。

(橋野係長)

こちらのいじめに関する教材につきましては、いろいろないじめの形がございまして、特に、この教材の中で扱われているものについては、具体的ないじめの場面を取り上げているものであるとか、もしくは、実際に、いじめが起こっている状況の中で、それに対して、どのように対処していけばいいのかといった、教材がそれぞれございます。具体的に見ていただきますと、例えば東京書籍やあかつき図書は、実際いじめをしたり、されたりといった、そういった経験を教材にされているという工夫がございまして。

東京書籍の2年生の教科書、28ページを御覧いただけたらと思います。こちらの内容につきましては、実際にいじめをした経験に対して、どういうふうに考えていけばいいのかといった内容です。あかつき図書にも同様のものがございまして、これも同じような形で、授業についてつらい思いをしている、そういったところを想像させるところを通して考えるというような教材が多くなっています。

続きまして、そのほかにも、この実際いじめが起こっている場面から、どういうふうにして対処していったらいいのか、そういった教材もございまして。こちらが多く取り上げられているのは教育出版、それから、光村図書、日本文教出版、日本教科書の4社が、いじめが起こっているものに対して、どういうふうに対処していけばいいのかという内容が多いように調査しております。

光村図書、3年生の45ページを御覧ください。こちらにつきましては、お互い理解し合うことの難しさ。それから、お互いが分かり合うためには、どういうふうにしていけばいいのかといったことを学ぶことができるものだと調査しております。そのほかにも、先ほど申し上げた教育出版とか日本文教出版、日本教科書で、このような実際にどういうふうにしていっていけばいいのかといった教材を取り上げているものが多いように調査しております。

あと、学研は、こういういじめに関するものというものを、取り上げている部分もあるのですが、いじめそのものを扱っているというよりは、もうちょっと前の段階の命の大切さについて取り扱っているというものが非常に多くなっています。例えばこちらも学研の2年生、64ページのところです。お母さんがおなかの中で命をなくしてしまったというお話を取り上げてございまして、人が生まれるということについては、すごく困難が生じるというところを伝えていく、伝えているという教材になっています。学研の教科書では、そのいじめそのものを教材にするというよりかは、そういった命の大切さを教材にするこ

とによって、自分だけでなく、ほかの周りの人のことも大切にしたいという、そういう思いを育むような内容になっております。

そして、2つ目にございました神戸市のものですが、神戸市の中学生にとって必要なものというのは、もちろん先ほどいじめが、道徳が教科化されていったという、理由の1つになってはいますが、それ以前に、このふだんの学校生活の中で、お互いのことを尊重し合う、お互いの個性を理解して尊重し合う、そういった部分の中で、よさを見つけて、お互い助け合っているという、そういう道徳の心を持ってもらいたいということがございます。神戸市の中学生にとっては、やはり自分と周りの人たちの命を大切にすることを通して、いじめといったことを、やっぱりしてはいけない、そういうふうな思いになってもらいたいなと思っております。

以上です。

(福本教育長)

ほかに質問はございますか。

今井委員、よろしく申し上げます。

(今井委員)

道徳をまだ教える経験が浅い先生にとって、授業を進めやすいといえますか、そういうことに長けている点を少し教えていただければと思います。

(橋野係長)

まず、授業の経験の浅い先生というのが、学習の流れであるとか、それから、討論の仕方であるとか、そういった部分が、きちんと教科書の中に書かれているものが、生徒たちと先生のお互い共通理解といいますでしょうか、そういった部分ができやすいので、進みやすいのではないかと思います。どの教科書も、そういったどのような流れで学習を進めていくのかについて書かれておまして、ただ、実際その経験などの豊富な先生と、そうでない先生の一番大きいところというのは、ここの経験が豊富な先生は、自分の経験からいろいろと話しすることができるということもありますが、ただ、そうでなければ、なかなか自分の経験をお話しするというのが難しく、子供たちに、より深い考えをもたらすのが難しいのかなと思います。そういう意味で言いますと、このそれぞれコラムがある、多く含まれている教科書というものがございまして、そうするとコラムから経験の浅い先生方も、そのコラムを扱うことによって、より深く考え、学びにつながる可能性があるのかなと思います。ただ、分量が多いと、本当に消化ができるのかという、そういう懸念点もございまして、そういった部分で言いますと、教材、その授業の中で取り扱わなくても、例えば自宅で読む、もしくは、自分の好きなタイミングで読むということで個別最適な学びにもつながるところもあるのかなというふうに思っています。

ちなみにコラムの数が最も多いのは学研で、次いで東京書籍という形になっております。
以上です。

(今井委員)

ありがとうございます。

(福本教育長)

ほかに御質問ありますでしょうか。

では、投票に参りますので、事務局、お願いします。

道徳ですが、株式会社学研 6 票、よって過半数を超えておりますので、株式会社学研の教科書を採択いたします。

これで全ての審議を終了しました。

このあと一覧を私から確認の読み上げをさせていただきますが、その前に資料に関して確認をしたいことがありますので、よろしくお願いします。研究調査報告書の64ページをお開けください。理科の観点イのところについて説明はありましたが、見ていただくと分かりますように、採択された啓林館の記載が抜けております。説明は、しっかりあったのですが、啓林館の記載が抜けておりますので、そのページを新たに差し替えてお渡します。結果として啓林館が採択されておりますので採択に影響は・ないと思われることから、採択結果は変わらずとさせていただきます。よろしく願いいたします。

(篠原教科指導担当課長)

すみません。補足をさせていただきます。理科の先ほどの64ページですが、説明は口頭でさせていただいたのですが、その説明の部分の記載が全て抜けておりますので、この部分の差替えをさせていただきます。大変申し訳ございませんでした。

(福本教育長)

委員の皆さん、よろしいでしょうか。お願いします。では、全体の確認をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。国語が東京書籍株式会社、書写は光村図書出版株式会社、社会の地理的分野が株式会社帝国書院、社会の歴史分野が株式会社帝国書院、社会の公民分野が東京書籍株式会社、地図が株式会社帝国書院、数学が数研出版株式会社、理科が株式会社新興出版社啓林館、音楽、音楽一般が株式会社教育芸術社、音楽、器楽合奏が株式会社教育芸術社、それから、美術が光村出版株式会社、保健体育が株式会社大修館書店、技術家庭の技術分野が開隆堂出版株式会社、技術家庭、家庭分野が東京書籍株式会社、英語が東京書籍株式会社、最後、道徳が株式会社学研というふうに決定いたしました。

以上で、教第17号議案、令和7年度使用神戸市立中学校及び義務教育学校後期課程の教科用図書の採択について、審議を終わります。

本日予定しておりました議題は全て終了しました。皆様どうもありがとうございました。

閉会 16時38分